•

.

平成元年度

情報化月間実施報告書

テーマ:生活と情報化

情報化月間推進会議
財団法人 日本情報処理開発協会

この実施報告書は、日本自転車振興会から競輪収益の一部である機械工業振興資金の補助を受け平成元年度情報 化月間総合広報の一環として作成したものです。

目 次

I	竹	青報化月間について ····································	1
П	7	P成元年度情報化月間行事について	1
Ш	ħ	青報化月間記念式典	2
	1.	情報化促進貢献個人	3
4	2.	情報化促進貢献企業等	4
ć	3.	優秀情報処理システム	5
4	1.	全国高校生プログラミング・コンテスト入選作品	6
IV	表	专 彰	9
3	۱.	優秀保守技術者表彰式(東京・日本電子計算機㈱)	9
2	2.	地方公共団体電算職員等表彰式	
		(東京・脚地方自治情報センター)	9
V	展	長 示 会	11
1		'89 先端産業展	
		(北海道・帯広商工会議所 他)	11
2	2.	ちとせ '89先端産業展	
		(北海道・ちとせ '89先端産業展実行委員会、㈱日本情報処理開発協会)	12
3	١.	'89 データベースフェア・イン・北海道	
		(北海道・北海道データベース研究会 他)	14
4		鉄道と情報	
		(北海道・北海道旅客鉄道㈱)	15
5	٠.	気仙沼地域情報化セミナー	
		(宮城・気仙沼商工会議所 他)	16
6		宮城県統計データフェア	
		(宮城・宮城県 他)	17
7		'89 秋田情報化フェア	
		(秋田・秋田商工会議所、側日本情報処理開発協会 他)	18
8		もがみ大産業まつり「情報エネルギーフェア」	
-		(山形・もがみ大産業まつり実行委員会 他)	19
9		宇宙と国際通信	
		(東京・国際電信電話(株))	20

10.	ソフトウェア・ショウ '89	
	(東京・) サフトウェア情報センター)	21
11.	地方公共団体OAフェア	
	(東京・脚地方自治情報センター)	21
12.	マイコンシステム&ツールフェア'89	
	(東京・)出日本システムハウス協会)	22
13.	'89 電子ディスプレイデバイス展(ED展)	
	(東京・씞日本電子機械工業会)	23
14.	1989年 国際放送機器展	
	(東京・紀)日本電子機械工業会)	24
15.	データショウ '89	
	(東京・(社)日本電子工業振興協会 他)	24
16.	NTTコレクション '89	
	(東京・日本電信電話㈱)	25
17.	情報化プラザinながおか	
	(新潟・) 断新潟県中小企業振興公社, 蹴日本情報処理開発協会)	26
18.	国際自動化展 89いしかわ	
	(石川・組立自動化国際会議実行委員会 他)	27
19.	いしかわ情報システムフェア '89	
	(石川・紺石川県情報システム工業会、㈱日本情報処理開発協会 他)	28
20.	ソフト・フェアinふくい '89	(
	(福井・岡福井県情報システム工業会、剛日本情報処理開発協会 他)	29
21.	ぎふ21情報フェア	
	(岐阜・岐阜商工会議所、㈱日本情報処理開発協会)	30
22.	インテリジェンスフェア・イン・静岡'89	
	(静岡・静岡商工会議所 他)	32
23.	あいち21産業技術情報フェア	
	(愛知・あいち21産業技術情報フェア実行委員会、㈱日本情報処理開発協会)	33
24.	メカトロニクスとソフトウェア展	
	(京都・餬京都高度技術研究所、煳日本情報処理開発協会 他)	34
25	大阪テレポートフェア	

	(大阪・大阪府 他)	35
26.	'89 トータルオートメーションフェア大阪(TAF)	
	「大阪ビジネスフェア'89」	
	(大阪・関西事務機産業協会)	36
27.	'89 トータルオートメーションフェア大阪(TAF)	
	「NEWプリント(電子印刷)OSAKA '89」	
	(大阪・関西事務機産業協会)	37
28.	鉄道と情報化展	
	(大阪・西日本旅客鉄道㈱)	38
29.	1989年 エレクトロニクスショー	
	(大阪・紺日本電子機械工業会)	39
30.	ニューオフィスフェア '89大阪	
	(大阪・ニューオフィスフェア '89大阪実行委員会)	39
31.	ニューメディア展示会	
	(兵庫・兵庫県 他)	40
32.	熊本テクノポリス '89「マイ・タッチ」フェア	
	(熊本・熊本テクノポリス財団 他)	41
33.	ソフトピア '89	
	(大分・組大分県地域経済情報センター、)明日本情報処理開発協会 他)	42
VI 講	演会・セミナー・シンポジウム等	44
1.	わが国における主要なデータベースシステムの概要及び	
	科学技術情報ネットワークシステム等の現況について	
	(北海道·函館市 他) ···································	44
2.	高度情報社会と企業経営	
	(北海道・函館市 他)	44
3.	北海道地区行政管理セミナー	
	(北海道・北海道地区行政管理改善連絡会議)	45
4.	今、情報感性を限りなく高め情報発信型企業へ	
••	(北海道・㈱室蘭テクノセンター、㈱日本情報処理開発協会)	47
5.	情報化時代の経営戦略	
	(岩手・) 明岩手県中小企業振興公社、) 即日本情報処理開発協会)	48

6.	東北地区行政管理セミナー	
	(宮城・総務庁東北管区行政監察局)	48
7.	東北・北海道ブロック技術・市場交流プラザ	
	(秋田・中小企業事業団 他)	49
8.	'89 地域情報化セミナー	
	(山形・酒田市 他)	50
9.	情報化相談室	
	(福島·福島県中小企業団体中央会 他) ···································	51
10.	行政と情報システム	
	(東京・総務庁行政管理局)	51
11.	鉄道旅行と情報について	1
	(東京・運輸省運輸政策局)	52
12.	電子計算機利用に関する技術研究会研究発表会	
	(東京・電子計算機利用に関する技術研究会)	53
13.	システム監査講演会	
	(東京・EDPユーザー団体連合会)	53
14.	世界における医療情報システムの展望	
	(東京・側医療情報システム開発センター)	54
15.	医療におけるパソコン簡易言語活用セミナー	
	(東京・㈱医療情報システム開発センター 他)	54
16.	Tネット構想について	ı
	(東京・㈱運輸経済研究センター)	55
17.	ネットワーク新時代と社会の対応	
	(東京・씞行政情報システム研究所)	55
18.	A V A '89	
	(東京・国際映像ソフトウェア推進協議会)	56
19.	CICC INTERNATIONAL SYMPOSIUM'89	
	(東京・側国際情報化協力センター)	57
20.	J I S A コンベンション '89	
	(東京・씞情報サービス産業協会)	58

21.	SEMINER WEEK'89 NOVEMBER	
	(東京・씞情報サービス産業協会)	58
22.	情報化社会と女性	
	(東京・Ј情報処理教育研修助成財団)	59
23.	技術センター 技術発表会	
	(東京・情報処理振興事業協会)	60
24.	高度情報化社会の脆弱性とバックアップ対策	
	(東京・システム監査学会)	60
25.	物流情報システム化への示唆	
	(東京・紐全日本トラック協会)	61
26.	コンピュータ・ソフトウェアの法的保護に関する国際シンポジウム	
	(東京・) 別ソフトウェア情報センター)	61
27.	TICC講演会	
	(東京・中小企業事業団)	62
28.	データベース構築促進及び技術開発に関する成果の普及	
	(東京・㈱)データベース振興センター)	63
29.	ISDNの応用とその将来	
	(東京・鉄道情報システム㈱ 他)	63
30.	交通・運輸におけるICカードの利用	
	(東京・) 働鉄道総合技術研究所)	64
31.	日独情報化社会シンポジウム	
	(東京・)脚電気通信政策総合研究所 他)	65
32.	OA賞受賞記念講演会	
	(東京・紐)日本オフィスオートメーション協会)	65
33,	情報科学技術研究集会	
	(東京・日本科学技術情報センター)	66
34.	衛星通信時代の幕開け	
	(東京・紐日本コンピュータ・ユーティリティ協会 他)	67
35.	コンピュータの冒険	
	(東京・日本システム工学会)	67

36.	JASAフォーラム	
	(東京・御日本システムハウス協会)	68
37.	情報化国際講演・討論会	•
	(東京・側日本情報処理開発協会)	68
38.	EDIの現状と展望	
	(東京・紐日本情報通信振興協会 他)	69
39.	企業戦略としてのロジスティックスと情報システム	
	(東京・紺日本船主協会)	70
40.	最近のデータ通信をめぐる諸問題	
	(東京・)明日本データ通信協会)	70
41.	'89 日本情報通信システム ユーザーズコンベンション	
	(東京・組)日本データ・プロセシング協会)	71
42.	NTT国際シンポジウム	
	(東京・日本電信電話㈱)	72
43.	「DTP/LBP」セミナー	
	(東京・紐日本パーソナルコンピュータソフトウェア協会)	72
44.	「ハイパーテキスト」セミナー	
	(東京・紐日本パーソナルコンピュータソフトウェア協会)	73
45.	「DV-I」セミナー	
	(東京・紺日本パーソナルコンピュータソフトウェア協会)	73
46.	「アップル Macintoshの日本語環境」セミナー	
	(東京・俬日本パーソナルコンピュータソフトウェア協会)	74
47.	「PCESとCADソフトの現状」セミナー	
	(東京・紐日本パーソナルコンピュータソフトウェア協会)	74
48.	高度情報化社会と地域の情報化	
	(東京・)助ニューメディア開発協会)	75
49.	法とコンピュータ学会研究会	
	(東京・法とコンピュータ学会)	76
50.	21世紀の都市像を考える	
	(東京・大阪・名古屋・日刊工業新聞社)	76

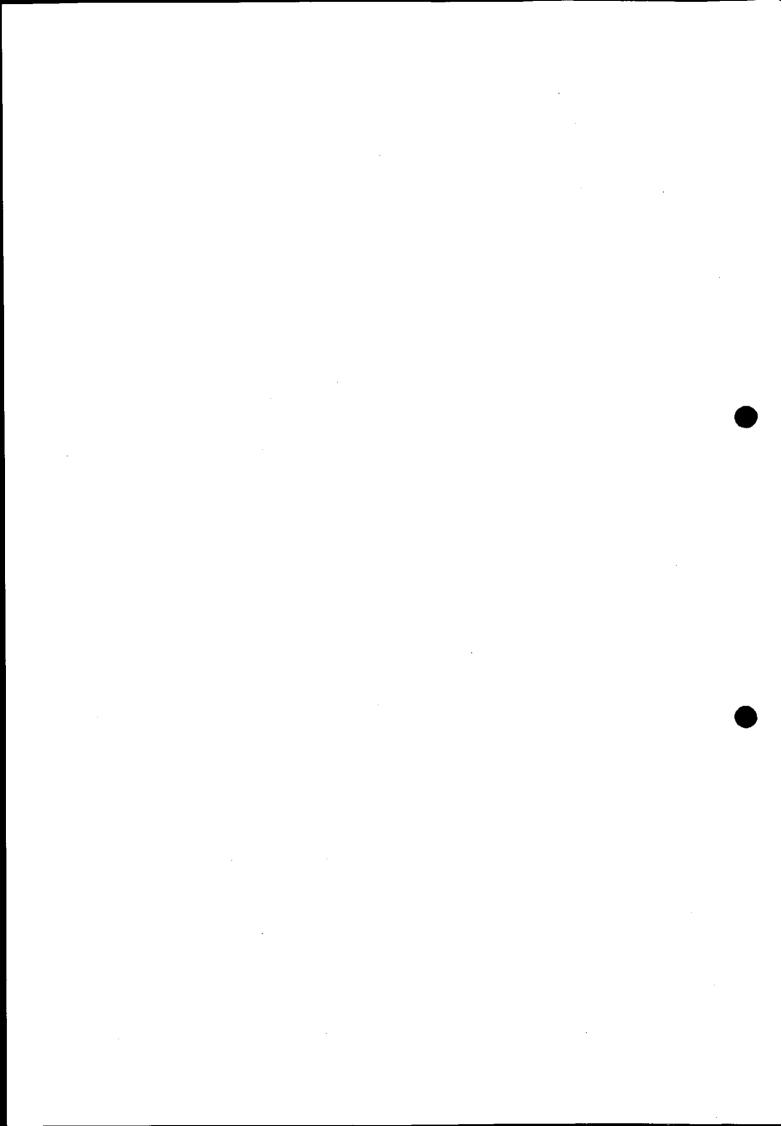
51.	港湾倉庫と情報化 他	
	(神奈川・紐日本倉庫協会 他)	77
52.	情報化講演会	
	(山梨・)助山梨21世紀産業開発機構)	78
53.	関東・甲信越・静ブロック技術市場交流プラザ	
	(長野・中小企業事業団 他)	78
54.	商店街の情報化を考える	
•	(長野・長野商工会議所 他)	79
55.	企業における情報化戦略 他	
	(長野・) 脚長野県中小企業振興公社、) 脚日本情報処理開発協会 他)	80
56.	<経営と技術> 国際シンポジウム in TOYAMA '89	
	(富山・中小企業事業団 他)	81
57.	脚富山県産業情報センター創立10周年記念式典及び講演会	
	(富山・㈱富山県産業情報センター)	82
58.	情報交流会	
	(富山・剛富山県産業情報センター)	82
59.	組立自動化国際会議	
	(石川・組立自動化国際会議実行委員会 他)	83
60.	本県における情報ネットワーク戦略 他	
	(福井・㈱福井県中小企業情報センター 他)	84
61.	中小企業情報化フォーラム '89	
	(岐阜・中小企業事業団 他)	84
62.	商工会議所情報化シンポジウム	
	(岐阜・日本商工会議所 他)	85
63.	中小企業における情報化の進め方と事例紹介	
	(岐阜・岐阜県中小企業団体中央会)	87
64.	21世紀情報化フォーラムINしずおか	
	(静岡・静岡商工会議所 他)	87
65.	ニューオフィスセミナー静岡	
	(静岡・静岡南丁会議所)	88

66.	行政管理セミナー	
	(愛知・総務庁中部管区行政監察局)	89
67.	科学技術情報流通技術基準普及説明会	
	(愛知・科学技術庁科学技術振興局 他)	90
68.	コンピュータ応用事例研究発表会	
	(愛知・コンピュータ応用技術協会)	91
69.	東海・北陸ブロック技術・市場交流プラザ	
	(愛知・中小企業事業団 他)	92
70.	情報を活かす街づくり	
	(愛知・瀬戸商工会議所、) 助日本情報処理開発協会)	92
71.	高度情報化女性セミナー	
	(三重・三重県高度情報化推進協議会)	93
72.	近畿ブロック技術・市場交流プラザ	
	(滋賀・中小企業事業団 他)	94
73.	情報社会を生きる	
	(京都・紐システム科学研究所 他)	95
74.	行政管理セミナー	
	(大阪・総務庁近畿管区行政監察局)	95
75.	医療におけるパソコン通信シンポジウム	
	(大阪・㈱医療情報システム開発センター 他)	96
76.	ハイグレード製品開発と生産システムの高度化をめざして	
	(大阪・働大阪科学技術センター)	97
77.	明日の先端技術を担う高機能高収益材料をいかに生み出すか	
	(大阪・씞大阪工研協会)	97
78.	コンピュータワールド・89	
	(大阪・)関西情報センター 他)	98
79.	IBIS 第2次運用実験開始記念式及び講演会	
	(大阪・基盤情報システム開発㈱ 他)	99
80.	SEMINAR WEEK'89 OSAKA	
	(大阪・씞情報サービス産業協会)	100
81	O A 賞受賞記念講演会	

	(大阪・紐日本オフィスオートメーション協会) ····································	100
82.	AI応用事例紹介	
	(大阪・紐日本技術士会近畿支部 他)	101
8 3.	電子工業技術大会	
	(大阪・紐日本電子機械工業会)	101
84.	実務者のための特許情報説明会	
	(大阪・) 助日本特許情報機構)	102
85.	パソコン講座	
	(島根・出雲商工会議所)	103
86.	コンピュータ実務研修	
	(島根・大田商工会議所 他)	103
87.	情報を戦略としてどう活用するか 他	
	(島根・㈱島根県中小企業振興公社、㈱日本情報処理開発協会)	104
88.	パソコン教室	
	(島根・宍道町商工会)	105
89.	あふれる情報、その生かし方	
	(島根・)中国地域技術振興センター 他)	105
90.	児島地域情報化推進講演会	
	(岡山・) 脚岡山県中小企業研修情報センター 他)	106
91.	金属系新素材の開発の現況と試験評価	
	(岡山・畑山陽技術振興会 他)	106
92.	中国ブロック技術・市場交流プラザ	
	(広島・中小企業事業団 他)	107
93.	これからの情報技術	
	(広島・鮲中国地域技術振興センター 他)	108
94.	情報活用で積極経営	
	(広島・脚中国地域技術振興センター 他)	108
95.	パソコン講習会	
	(広島・剛広島県産業技術振興機構)	109
96.	新規事業開発・多角経営計画のすすめ方	
	(広島・) 脚広島県産業技術振興機構)	110

97.	これからの情報技術
	(広島・シンポジウム広島 '89「これからの情報技術」実行委員会) 110
98.	中小企業経営のための経営戦略セミナー
	(山口・中小企業事業団 他)
99.	経営者能力開発講座
	(山口・)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
100.	ニューメディア講習会
	(山口・山口県商工会連合会) 112
101.	企業における研究の位置づけ:今、何がトレンディなのか
	(山口・山口大学工学部 他) 113
102.	市民講演会
	(山口・山口大学工学部 他) 114
103.	特別記念講演会
	(山口・山口大学工学部 他) 115
104.	情報戦略化としてのPOSシステムの構築
	(徳島・徳島県 他)
105.	四国ブロック技術・市場交流プラザ
	(香川・中小企業事業団 他)
106.	情報化講演会
	〔愛媛・鰂愛媛県中小企業情報センター 他) 117
107.	21世紀への道 - 高度情報化と地域社会- 他
	(愛媛・㈱四国産業・技術振興センター、㈱日本情報処理開発協会) 117
108.	荷主物流セミナー
	(長崎・紺)長崎県トラック協会 他) 118
109.	九州・沖縄ブロック技術・市場交流プラザ
	(大分・中小企業事業団 他) 119
110.	かごしまソフトウェアセミナー
	(鹿児島・㈱鹿児島県産業技術振興協会、㈱日本情報処理開発協会 他) 120

111	. 中小企業セミナー	
	(鹿児島・中小企業事業団)	121
112	2. 沖縄地区行政管理セミナー	
	(沖縄・総務庁沖縄行政監察事務所)	121
113	. 今後の情報化社会と地域活性化	
	(沖縄・沖縄県商工会議所連合会、) 田本情報処理開発協会)	122
114	. 中学生コンピュータ・セミナー	
	(脚コンピュータ教育開発センター、)明日本情報処理開発協会)	123
VII	施設公開	125
1	. 郵便局の施設公開(全国各地・郵政省)	125
VII	その他	127
1	. NTTふれあいトーク大賞	
	(全国各地・日本電信電話㈱)	127
2	. 日本語文書処理技能検定試験1級・2級	
	(全国各地・日本商工会議所 他)	127
ĺΧ	情報化月間推進会議委員名簿	129
	情報化月間推進会議幹事会委員名簿	130



I 情報化月間について

わが国における情報化は、情報処理および通信技術の発達に伴い産業・社会・生活に着実に 浸透している。

このような情報化の進展は今後、その対象、地域を問わずに急速に拡大していくことが予想される。情報化社会の健全な発展を進めていくためには、国民の情報化に対する正しい認識と理解を醸成していくことが必要である。

こうした観点から、政府は昭和47年以来、10月第1週を「情報化週間」と定め、昭和57年からは、期間を1ヵ月に伸ばし「情報化月間」と改めこの間全国各地で各種の行事がおこなわれてきている。

Ⅱ 平成元年度情報化月間行事について

平成元年度の情報化月間は「生活と情報化」をテーマに、各種の行事が全国的に開催された。 10月2日のホテル・オークラにおける記念式典をはじめ、展示会、講演会、セミナー等の行 事が、例年通り北海道から沖縄までほぼ全都道府県にわたって開催され盛況のうちに終了した。 また、広報関係については、ポスター、PR誌、全国高校生プログラミング・コンテスト募 集要領の作成・配付等、総合的なPRを実施した。

Ⅲ 情報化月間記念式典

(1) 期 日 平成元年10月2日(月)

10:30 ~ 12:00

(2) 会 場 ホテル・オークラ

参加者 450名

- (3) 式 次 第
 - ① 主催者挨拶

情報化月間推進会議議長 影 Ш 衛 通商産業政務次官 石原健太郎 林 正 務 政務次官 総 運 務 次 官 \blacksquare 輸 政 原 皓 郵 政 政 務 次 官 月 茂

② 来賓祝辞

情報産業振興議員連盟会長 倉 成 正

③ 表 彰

情報化促進に多大の貢献があった個人(12名)、企業・団体等(14団体)、情報処理システム(15システム)および全国の高等学校生・高等専門学校生を対象とするプログラミング・コンテストの優秀作品(7作品)に対して大臣表彰等(情報処理システムについては、影山情報化月間推進会議議長表彰)が行われた。

④ 受賞者代表挨拶

㈱構造計画研究所 取締役会長 三 枝 守 正

1. 平成元年度情報化促進實献個人

(五十音順)

F		名		年 齢		業	績
		ショウイチロ		41才	東京大学工学系研究科教授	電気通信審議会の専門委員、電気通信技術審議会CCITT 委会の座長等を務め、情報化の普及・啓蒙に尽力し、我が国の	
		H 幹		50才	株式会社石井幹子デザイン事務所 所長	各種講演会活動を通じ広く国民に対しニューメディアに対 散に関する研究会」等、郵政省の各種懇談会の委員を務め、	
が稲	9 H		溥	57才	株式会社第一ソフテック 代表取締役	(社)日本情報が外協会並びに(社)情報サービス産業協 尽力し、早くから国際的視野をもって行動し、我が国情報化	
ル猪	79 股		多	66才	株式会社クレオ 取締役会長	(社) 日本ハーンナルコンヒュータンフトウェア 協会の理事としてまた、法 以降は、同協会副会長として、また地域情報化委員会の委員	
		97 届		69才	株式会社電通国際情報サービス 顧問	社団法人日本情報通信振興協会の設立に尽力し、以来、同動に尽力した。また、国際データ通信システムの開発・提供	
		ショウ・昭		58才	鹿島建設株式会社 代表取締役社長	大規模なOA化を進めるに当たって、OA化推進委員会を もってその経験と成果を社内に拡大し、機会あるごとに産業	
カワ リロ		to ;		55才	ヤマトシステム開発株式会社 専務取締役	永年にわたり、トラック業界の情報化に指導的役割を果たるなど、運輸に関する情報化促進に多大な貢献をした。	としたほか、運輸政策審議会情報部会専門委員を歴任す
		守		64才	株式会社構造計画研究所 取締役会長	(社)情報サーヒス産業協会の設立にあたっては取りまとめ役社)情報サーヒス産業協会の技術委員会委員長として、先進的情	
		74 月	生	53才	東京商船大学商船学部 運送工学科教授	永年にわたり、海上交通の情報化に指導的役割を果たした する情報化促進に多大な貢献をした。	はか、各種委員会の委員長を歴任するなど、運輸に関
		tí)精		64才	伊藤忠テクノサイエンス株式会社 顧問	国際的な視野に立った内外企業のシステム化を手がける一 員等による普及・啓蒙活動を通して我が国情報化の促進に多	
9 田		もか。 京之:		66才	財団法人日本情報処理開発協会 参与	昭和47年以来、汎ネットワーク委員会委員等各種委員を 利用上の諸問題改善のため幅広い多くの作業に関与し、実質	:歴任し、我が国のコンピュータ利用における通信回線 (的な推進者として情報化の促進に多大な貢献をした。
	타 本		マ質	63才	富士通株式会社 代表取締役社長	コンピュータ関連の工業会、技術研究組合等の会長、理事 会議、情報処理振興審議会等の委員として、我が国情報化の	

※年令は平成元年7月15日現在

企業等の名称	代表者名	業	續
鐘紡株式会社	代表取締役社長石 澤 一朝	21世紀ネットワーク社会に向けての、生産的 ックス普及を加速させる大きな要因となり、情報	防率を高めるため我が国のビデオテックス利用の模範となり、ビデオテ 版システム化の先端企業として、情報化の促進に多大な貢献をした。
財団法人研究学園都市コミュニティケーブ ルサービス	理事長 篠 海 良一郎	CATVの高度利用による地域情報通信シスタチャンネル放送、自主番組の制作・放送を行い	テムを開発し、CATVを利用したデータ通信システムの開発・運用、 ハ、CATVの高度化の促進と地域社会の情報化に多大な貢献をした。
財団法人埼玉県中小企業振興公社 埼玉県産業情報センター	理事長 小 林 実	独自情報の創出のための調査、ネットワークを フォーラム活動の支援等を通じ、地域における	#築・情報誌の発行・データベース検索等による情報提供、情報相談、 情報化の普及、啓発、指導を行い、情報化の促進に多大な貢献をした。
社会保険庁	社会保険庁長官 小 林 功 典	全国的なオンラインネットワークを構築・選 成果を上げるとともに、社会保険業務の適正化 をした。	用することによって、全国民を対象とした行政サービスの向上に多大な ・効率化に大きく寄与するなど、行政情報システムの推進に多大な貢献
東京書籍株式会社	取締役社長 小 高 民 雄	教育出版として、情報教育推進団体に積極的に に、同業他社等の利用を可能にし、コンピュー	こ参加し、永年蓄積された教育ノウハウ及び教材データを公開すると共 タ教育の普及・啓発を推進し情報化の推進に多大な貢献をした。
財団法人鉄道総合技術研究所	会長 井 深 大		1 O O 系新幹線に導入された移動体通信技術の開発など、鉄道技術の維 免を行い、運輸業界の情報化の促進に多大な貢献をした。
東芝エンジニアリング株式会社 東京第4サービスセンター特許庁保守グル ープ	グループ代表者 服 部 広 明	特許庁の保守グループとして、文献検索シス・計画の一翼を担い、迅速障害対応に努めシステ。	テムの保守を担当し、システムの安定稼働の維持はもちろんペーパレス ムの安定稼働に大きく寄与し、情報化の促進に多大な貢献をした。
株式会社東北経営計算センター	代表取締役社長宮 脇 敏 夫	企業・自治体等に対する各種VANサービスの 法人日本情報通信振興協会、一般第二種電気通信	D提供を通じ、企業経営の高度化、地域の情報化に貢献したほか、社団 言事業者協議会の活動を通じ電気通信事業の発展に多大な貢献をした。
長崎自動車株式会社	代表取締役社長 松田高一	バス業界において、ブリベードカードによる/ 果たすとともに、利用者利便の向上及び事業の	ベス運賃収受システムを構築したほか、情報化への対応の先駆的役割を 防率化など業界の情報化の推進に多大な貢献をした。
日本情報サービス株式会社	代表取締役社長 多 田 芳 雄	昭和46年のデータ通信制度の創設を受けて独E 以来、流通、金融、製造等の各種産業分野に情報	自開発したシステムにより我が国最初のデータ通信サービスを実施し、 R通信サービスを提供し、我が国情報化の推進に多大な貢献をした。
株式会社毎日新聞社	代表取締役社長 渡 邊 襄	文化の貴重な財産である写真を「データベー」 種シンポジウム、イベントを通じ国民の情報化し	ス」化、一般に公開しうずもれた情報の発掘と保存に努めると共に、各 こ対する啓蒙を行い、情報化の推進に多大な貢献をした。
松下電工株式会社	取締役社長 三 好 俊 夫		利を構築し、50年代にはコンピュータの異機種間結合と流通VANへの 音手するなど、情報処理技術の向上に多大な貢献をした。
三井情報開発株式会社	代表取締役社長 園山 裕三	昭和42年10月に総合情報サービス企業として設 務、並びに調査研究等各業務で高い技術力を各	立され、長年に亘る各種コンサルティング、システム開発、受託計算業 分野に提供し、社会の情報高度化の促進に多大な貢献をした。
株式会社南日本情報処理センター	代表取締役社長小川隆介	昭和44年会社創立以来、地方自治体をはじめる ム開発、受託計算、電算室管理運営等幅広いサ	とする各種公共団体、地域企業等に対して、コンサルティング、システ ービスを提供し、地域社会の情報化の推進に多大な貢献をした。

4

3. 平成元年度優秀情報処理システム

(五十音順)

システムの名称	表彰対象者名	表。 彰 理 由
医用画像管理システム (PACS)	北海道大学医学部 付属病院	本システムは、医用画像デジタル化によるオンラインネットワークシステムであり、画像圧縮の高速化や分散画像データベース管理等を実現することにより、患者へのサービスの向上並びに医療分野における情報化の促進に寄与した。
エイプル	全日本空輸株式会社	本システムは、世界で初めて、磁気ストライブ付きATB券(搭乗券-体型航空券)を採用し、予約・発券、搭乗手続き、航空券精算等の業務のトータルシステム化を図り、旅客利便の向上や情報処理の円滑化に寄与した。
NHK報道情報システム	日本放送協会	本システムは、文字、動画、静止画等の多様な情報を総合的に扱う報道番組の制作、報道情報のデータベース化等を行うシステムであり、迅速な報道体制の確立、報道番組の充実に寄与した。
建築設計製図支援システム (ARGUS)	株式会社大林組	本システムは、建築設計業務を支援するシステムであり、意匠・構造設計分野の主要業務に対応でき、特に企画設計既 における日影チェック機能や容易なデータ入力等の向上により、設計作業の生産性向上と品質向上に寄与した。
健康保険組合システム (KENPOS)	株式会社システムリース	本システムは、健康保険組合における通用、徴収、療養給付、現金給付等の業務を統合化したシステムであり、これまでの手書き台帳をペーパレス化、効率化を図ることにより、健康保険組合業務における情報化の促進に寄与した。
基幹重点情報システム	関西電力株式会社	本システムは、資材管理、設備工事・工程管理、設備保全管理、会計管理の共通業務を統合化したシステムであり、企業内の事務コストの削減、金利軽減等の経済的効果を示し、我が国企業のOA化の推進に寄与した。
証券総合オンラインシステム (I-STAR)	株式会社野村総合研究所	本システムは、我が国証券市場に参入する外国証券会社の経営をサポートする証券総合オンラインシステムであり、英 文入出力機能、多通貨処理機能及び高度なセキュリティ対策等に優れており、我が国証券市場の国際化推進に寄与した。
18バンキングオンラインシ ステム	株式会社十八銀行	本システムは、自社開発による2センター 1 システム方式のバンキングシステムであり、経済性、安全性・信頼性が高く、企業経営の合理化・高度化に寄与した。
第三次SANBACシステム	株式会社三和銀行	本システムは、経営ニーズの変化、技術の変化に耐えるべく柔軟性を持ったバンキングシステムであり、セキュリティ 対策、分散システムを確立することにより、顧客に対して質の高い、均一なサービスの実現に寄与した。
日英機械翻訳システム	株式会社CSK	本システムは、速報性が要求される経済分野、特に証券・金融相場の報道記事を日英翻訳するシステムであり、A I 技術を用いた言語処理方式を用いて作業効率を大幅に向上させ、我が国の情報の国際化に寄与した。
農協共済事業総合オンライン システム	全国共済農業協同組合連合 会	本システムは、全国約3000組合の共済事業を統合化したシステムであり、分散システム運用管理機能、ネットワーク管理機能等を実現することにより、業務の効率化の向上と加入組合員へのサービスの向上に寄与した。
HI-BESTシステム	日立エレベーターサービス 株式会社	本システムは、エレベータの遠隔監視、顧客報告、全国サービス拠点における情報提供等を統合化したネットワークシステムであり、常時監視、迅速な出動体制の確立を図ることにより、顧客サービスの信頼性・安全性の向上に寄与した。
販売店OAシステム (HAPPINESS)	本田技研工業株式会社	本システムは、生産・販売分野での受注、会計処理、顧客管理及び修理業務を統合化したOAシステムであり、販売店の事務処理効率の向上、販売店間接業務の省力化等を実現することにより、販売店各社の質的向上に寄与した。
バス運行管理システム	京王帝都電鉄株式会社	本システムは、バスの走行をコントロールする運行管理システムであり、車載処理装置から発信される運行状況を常時 把握し、利用者に対してバスの接近表示等の情報提供を図るなど、利用者に対するサービスの向上に寄与した。
港湾技術情報処理システム	運輸省港湾技術研究所	本システムは、港湾に係る技術、自然条件等をデータベース化するとともに、最適な港湾構造物の設計、施工管理等を 可能としたオンラインシステムであり、港湾技術の情報処理の円滑化に寄与した。

4. 平成元年度全国高校生プログラミング・コンテスト入選作品

714	H				·	作	成	者				the III on little 196
作	딞	名		学校	· 学	———— 科 ·	学年		氏	4	ξ	- 作品の概要
最優秀賞												
TRAIN M	(AS	ΓER	800	群馬県立	高崎	工業高等	等学校					
					情報	技術科	3年	馬	場	敏	男	模型のNゲージ列車を、CRT上に表示した全体図から走行ルートやスピード、ポイント
						"		大	内	良	夫	の切り換えを指示し、走行管理制御ができるプログラムである。
						"		保	科	哲	也	
優秀賞					_	_						
グラフィック・	アルシ	ジブラ		福島県立	福島	工業高等	学校					
ŀ					電	子 科	3年	大汽	呐	善	則	方程式や不等式などの解をグラフで表示し、グラフを自由に拡大、縮小でき視覚的に理解
						"	٠	岡	部	俊	頭	できるようにした数式処理プログラムである。
						"		鎌	田	信	司	
						"		佐	藤	貴	裕	
						"		東	城	弘	志	
,						"	,	=	瓶	健	_	
優秀賞												
せんせい・あの	油、…	•		埼玉県立	深谷	商業高等	学校					
					情報	処理科	3年	石	井	恵	子	発声障害や肢体不自由な子供達が、テンキーあるいはスペースバーのみの操作で先生に
						"			山	幾	-	昨日の出来事を伝えたり、絵日記を描くことのできるプログラムである。
1						"		堤		7.	3	
						"				Ξ		
		<u>.</u>				"	- · ·	三	林	弘	美 	

0

~ |

作品名	作	成	者				F	Φ.	-18IC	要
	学校 ・ 学科 ・	学年	氏	名		作 	<u> </u>	Ø 	概	安
優秀賞										
ワンボードマイコン・	静岡県立 浜松工業高	等学校								
プログラム学習支援システム	情報技術科	3年	大木	康幸	ワンボードマイコ	ン(Z8	0)に入力	する機械語	プログラム	を、アセンブリ言語で作成し
	,,	2年	井口	宗 和	これをクロスアセン	ブラによ	って 機械語	に翻訳する	プログラム	である。
	,,		池 谷	吉 隆						
	"		片桐	康晴						
·	. "		小 松	新 平						
	" .		齋 藤	膀彦						
	, ,,		高林	冬裕輝						
	#		戸塚	弘 倫						
	"		波田野	道 男						
努力賞										
KOREA	千葉県立 一宮商業語	等学校								
	情報処理科	3年	金 高	啓司	パソコンの持って	いるグラ	フィックの	特性とテー	プレコーダ	を組み合わせ、何回でも繰り
					返し学習できるプロ	グラムで	ある。			

IV 表 彰

- 1. 優秀保守技術者表彰式
 - · 主 催 日本電子計算機(株)
 - ・ 開催日時 平成元年10月6日(金) 13:30 ~ 15:30
 - ・ 会場名・住所 (総日本倶楽部 (千代田区丸の内)
 - ・ 行 事 内 容 電子計算機の保守サービス業務を担当され、情報化社会の安定に大き く貢献され多大な実績をあげられた方々25グループ(総数 135名)を 表彰した。
 - · 参加人数 120名
 - ・ 参加者の反応 表彰を機に更に充実した保守サービスを行い、電子計算機の安定稼動 を達成しようという意欲が感じられた。
- 2. 地方公共団体電算職員等表彰式
 - ・ 主 催 助地方自治情報センター
 - · 開催日時 平成元年10月25日(水)
 - · 会場名·住所 全国町村議員会館 (千代田区一番町)
 - ・ 行 事 内 容 地方公共団体における情報処理業務において全国的な功労のあった特別功労者 5 名、10年以上長期勤続者 277名、20年以上長期勤続者32名の個人表彰と優良市町村18団体、優秀情報処理システム 4 システムの

団体表彰を行った。

- ・ 参 加 人 数 233名
- · 経 費 約 500万円
- ・ 参加者の反応 受賞者は、地方自治発展のため今後とも一層の努力を傾注する旨決意 していた。

Ⅴ 展 示 会

- 1. '89 先端産業展
 - ・ 主 催 帯広商工会議所おびひろ情報処理推進協議会帯広市帯広コンピュータ専門学校
 - 後 投 北海道通商産業局、十勝支庁、北海道商工会連合会十勝支部、帯広郵便局、帯広コンピュータ専門学校協賛会、十勝毎日新聞社、北海道新聞帯広支社、北海タイムス帯広支社、日本経済新聞社、朝日新聞帯広通信局、毎日新聞帯広通信部、読売新聞帯広通信部、釧路新聞帯広支社、時事通信社帯広支局、NHK帯広報道局、HBC帯広放送局、STV帯広放送局、UHB帯広支局、帯広シティーケーブル
 - 開催日時 平成元年10月20日(金)~ 22日(日)
 - ・ 会場名・住所 帯広郵便局 コミュニティ大ホール (帯広市)

 - ・ 参 加 人 数 4,656人
 - · 経 費 約 330万円
 - ・ 参加者の反応 「ニューロ・コンピュータ」など先端技術を見て、触れて、参加者に は概ね好評であった。また、来場者に対しての抽選も好評であった。 しかしながら会場は立地条件としては良いのだが 3 階で、あまり知ら れていないため、場所が分かりにくかった。

2. ちとせ '89先端産業展

・ 主 催 ちとせ 89先端産業展実行委員会 (構成団体/千歳市、千歳商工会議 所、) 助道央テクノポリス開発機構)

助日本情報処理開発協会

TB、uhb

- 北海道通商産業局、北海道、紐北海道商工会議所連合会、水産庁北海 後 挼 道さけ・ますふ化場千歳支場、北海道工業開発試験所、北海道立工業 試験場、千歳工業クラブ、千歳航空協会、紐千歳観光連盟、千歳青年 会議所、側北海道地域技術振興センター、㈱日本科学技術情報センタ 一、闭日本システムハウス協会道支部、北海道情報処理産業懇談会、 北海道ソフトウェア協会、樹北海道事務機産業協会、北海道機械工業 会、北海道バイオインダストリー懇話会、紐千歳医師会、苫小牧工業 高等専門学校、日本航空学園千歳校、北海道ハイテクノロジー専門学 校、恵庭リサーチ・ビジネスパーク㈱、NTT千歳営業所、JR北海 道、北海道電力㈱千歳営業所、千歳市農業協同組合、東千歳農業協同 組合、千歳市開拓農業協同組合、千歳民報社、苫小牧民報社、朝日新 聞社北海道支社、毎日新聞社北海道支社、読売新聞社北海道支社、日 本経済新聞社、北海道新聞社、北海タイムス社、日刊工業新聞社札幌 支局、時事通信社苫小牧支局、NHK札幌放送局、HBC、STV、H
- 協 賛 北海道松下電器㈱、松下電子部品㈱セラミック事業部、日立北海セミコンダクタ㈱、㈱日立製作所北海道支店、サントリー㈱、キリンビール㈱、キッコーマン㈱、道央キャノン事務機販売㈱、エイブルソフト㈱、NTT千歳営業所、三菱重工業㈱、日本航空学園千歳校、㈱かなまる、北海道ユービックス㈱、ニッテツ北海道制御システム㈱、日本科学技術情報センター、藤倉電線㈱、㈱アイネス札幌支社、シン航空写真㈱、㈱カミノ、㈱内田洋行、東芝情報機器㈱、北海道NEC商品販売㈱、北海道リコー㈱、㈱アマノ、㈱グラフ商会、ヒルコ北海道㈱、㈱ほくさん、北日本建設コンピューター㈱、侑報業社、理想科学工業㈱、エプソン販売㈱、北海道立工業試験場、通産省工業技術院、北海

道工業開発試験所、㈱東芝北海道支社、金沢工業大学、㈱ファインクリスタル、JR北海道、大昌電気㈱、三菱重工業㈱、相模原製作所、三菱電気㈱、札幌市教育文化会館視聴覚センター、㈱福本工業、航空宇宙事業団、千歳航空協会、日本航空、全日本空輸、日本エアシステム、国際電信電話㈱、北海道日清㈱、㈱北海道地域技術振興センター、千歳市役所パソコン研究会

- ・ 開 催 日 時 平成元年10月6日(金)~ 8日(日)、10:00~18:00 (ただし、8日は17:00まで)
- 会場名・住所 千歳市民文化センター (千歳市北栄)
- ・ 行 事 内 容 会場を次の5コーナーに分けて展示構成
 - ①テーマコーナー(1階=航空宇宙、リニアモーターカー、電話機の 歴史などを紹介。プラネタリウム室で「千歳110年の歩み」のス ライド上映)
 - ②先端産業関連コーナー(3階=情報処理、ソフトウェア、半導体、 新素材、システムハウス、バイオインダストリー関連企業を紹介。 清涼飲料水の試飲コーナーを設置)
 - ③生活空間関連コーナー (2・4階=OA機器、事務機器、事務ツール、電子楽器、超電導、セラミック関連企業を紹介)
 - ④試験研究機関コーナー(3階=公的試験機関、専門学校等の研究成果や取り組みを紹介)
 - ⑤テクノポリスコーナー(4階=道央テクノポリス圏の将来構想を紹介)
- 参加人数 13,237人
- · 経 費 約 1,754万円

参加者の反応 立体映像、テレビ望遠鏡、似顔絵スタンプ作成システム、リニアモーターカー模型、植物バイオ、歴史的科学文献など、道内初の展示物や普段身近に見ることがないものなどが数多く出展され、大いに来場者の興味を引いた。

また、開催中に実施した入場者アンケートにおいて、回答(296通)の81%強が「内容が良かった」と答えるとともに、回答者全員が「再度開催を希望する」と答えるなど本展示会への評価は高く、入場者数も目標(1万人)を大きく上回った。

- 3. '89 データベースフェア・イン・北海道
 - ・ 主 催 北海道データベース研究会、北海道通商産業局、北海道新聞社、札幌 商工会議所
 - 後 援 北海道、札幌市、NHK、HBC、STV、HTB、uhb、TVh、 FM北海道、北海タイムス、日本経済新聞社札幌支社、朝日新聞社北 海道支社、読売新聞社北海道支社
 - 協 賛 日本データベース協会、NTT、KDD、側札幌エレクトロニクスセンター
 - · 開催日時 平成元年10月20日(金)~ 21日(土) 10:00~ 17:00
 - 会場名・住所 道新ホール (札幌市中央区)
 - ・ 行 事 内 容 ・北海道を中心とした国内外のデータベースサービスの実演・展示 (29団体の出展)
 - ・講演会「ここまできたデータベース」 山 鳥 雄 嗣 (脚日本情報処理開発協会 調査部長)
 - ・パネルディスカッション

「ユーザーから見たデータベースの活用術」

コーディネータ 星 真太郎(札幌大学経営学部教授)

パネラー 宮 野 富 夫(北海道新聞社編集局専門委員)

″ 山 下 智 久(日本経済新聞データバンク局次長)

// 関口逸馬(北海道工業開発試験所研究企画官)

が 稲田芳弘(クリエティブ・アイズ代表取締役)。

罗口迪子(北海道学園大学教養部助教授)

- 参加人数 2,897名
- **経**費 520万円
- ・ 参加者の反応 北海道で初めてのデータベースフェアでもあり、一般市民、ビジネス マン等参加者の関心が強く滞留時間も長く、今後の北海道におけるデ ータベースの普及推進に関心を示していることが窺われた。

4. 鉄道と情報

- 主 催 北海道旅客鉄道㈱
- 後援投海道ジェイアールシステム開発機
- 開催日時 平成元年10月13日(金)~14日(土)

 $9:00 \sim 17:00$

- ・ 会場名・住所 札幌駅構内イベント広場 (札幌市中央区)
- ・ 行 事 内 容 パソコンを設置して、リゾート列車予約、ビデオテックス、テレビク イズ等の実演を行なった。
- 参加人数 5,000人

- · 経 費 5万円
- ・ 参加者の反応 好評であった。
- 5. 気仙沼地域情報化セミナー

(気仙沼地域ニューメディア・コミュニティ構想推進にかかる、展示会、講演会)

• 主 催 気仙沼商工会議所

(助ニューメディア開発協会

気仙沼地域ニューメディア・コミュニティ推進協議会

気仙沼市

- 後 援 東北通商産業局、宮城県
- ・ 協 賛 NTT気仙沼支店、気仙沼テレビ放送㈱、㈱東芝、㈱日立製作所
- (1) 講 演
 - · 開 催 日 時 平成元年10月26日(木) 13:30 ~ 15:30
 - ·開催場所 気仙沼市役所 会議室

(気仙沼市八日町)

・行 事 内 容 「21世紀における地方都市の情報化」

講師 通商産業省機械情報産業局 情報処理システム開発課 企画班長

課長補佐 江田孝雄

「流通業における情報化」

講師 (株)東芝 情報処理・制御システム事業本部 流通・金融システム担当

技術長附 猪 俣 克 志

- ・参 加 人 数 120名
- ・参加者の反応 ニューメディアというと先端技術のみ目を奪われがちではあるが、地元のニーズと情熱が基本であるとの認識を得た。 (セミナーアンケートより)

- (2) 展 示
 - ・開催日時 平成元年10月26日(木)~ 28日(土) 9:00~17:00(最終日は11:00まで)
 - ・開催場所 気仙沼市役所 玄関ホール (気仙沼市八日町)
 - ・行事内容 ニューメディア機器 「目で見る情報機器展」
 - ・参 加 人 数 800名
 - ・参加者の反応 ニューメディア機器を、実際自分の目で見、手で触れることができて 機器に対して親しみと関心が湧いた。 (機器展アンケートより)
- (3) 経 費 95万円
- 6. 宮城県統計データフェア
 - · 主 催 宮城県(企画部統計課) 宮城県統計協会
 - 後 援 総務庁統計局、宮城県教育委員会、宮城県市長会、宮城県町村会、宮城県統計調査員協議会連合会
 - ・ 開 催 日 時 平成元年10月14日(土)~ 17日(火) 10:00~ 18:00
 - ・ 会場名・住所 JR東日本仙台駅 イベントホール (仙台市青葉区)
 - 行事内容 テーマ「くらしと経営に生かす統計」
 サブテーマ 「データにタッチ、なーるほどみやぎ」
 各種統計データをグラフ化しパネル展示するとともに、パソコンを使用し、入場者に直接データを取り出してもらう等、統計への理解とそ

の活用を促すための各種コーナーを設置。

- · 参加人数 約2,700人
- · 経 費 約 190万円
- ・ 参加者の反応 各種各層の一般人が来場したが、いずれにも好評であった。 アンケート調査も実施したが、統計データに対する新鮮な驚きの声が 多くみられた。

7. '89 秋田情報化フェア

- · 主 催 秋田商工会議所、側日本情報処理開発協会、秋田県情報産業協会
- ・協 賛 ㈱あきぎんコンピュータサービス、学校法人コア学園秋田コンピュータ専門学校、学校法人秋田情報ビジネス専門学校、秋田富士オーエー㈱、㈱インフォメーションプラザ秋田、㈱羽後電子計算センター、㈱エイ・ディ・ケイソフト開発研究所、北日本コンピューターサービス㈱、シグマシステムズ㈱秋田営業所、セコム㈱東北第二統轄部秋田中央支社、㈱東芝秋田営業所、東芝情報機器㈱秋田営業所、東北松下システム㈱秋田支店、日本アイ・ビー・エム㈱秋田営業所、日本電気㈱秋田支店、日本電信電話㈱秋田支社、日本ユニシス㈱秋田営業所、㈱日立情報システムズ秋田営業所、㈱日立製作所秋田営業所、野村證券㈱秋田支店、富士ゼロックス㈱秋田営業所、富士通㈱秋田支店、三菱電機㈱秋田営業所、菱明三菱電機機器販売㈱〇A電算事業部

- · 開催日時 平成元年11月25日(土)~ 28日(火)
- ・ 会場名・住所 秋田総合生活文化会館(アトリオン) (秋田市中通)
- ・ 行 事 内 容 一般社会人から主婦・学生・生徒まで県民各層を対象に実施した。また、出展各社の展示物により「中小企業向け」、「教育向け」、「その他」にまとめ、誰にでも見て触れることのできる展示構成にして各分野で身近になっている情報化を紹介した。
- ・ 参加人数 14,566名
- · 経 費 約 1,200万円
- ・ 参加者の反応 開催期間中は、寒い日が続いたが予想以上の入場者があり、県民の先端技術と高度情報化社会に対する関心が非常に高かった。また、広く県内企業や一般県民が直接に情報化の実際に触れ、体験できたことは大変有意義であった。
- 8. もがみ大産業まつり「情報エネルギーフェア」
 - ・ 主 催 もがみ大産業まつり実行委員会新庄市、金山町、最上町、舟形町、真室川町、大蔵村、鮭川村、戸沢村
 - 後 援 山形県、新庄商工会議所、町村商工会、市町村教育委員会、市町村農 業協同組合、他37団体
 - · 協 賛 出展団体各社
 - · 開催日時 平成元年10月28日(土)~ 29日(日)

- 会場名・住所 新庄市民プラザ (新庄市大手町)
- 行事内容(情報エネルギーフェアのみ) 情報関連機器の展示 パソコン・ワープロ教室 CAIコーナー
- 参加人数 情報フェア会場 10,000人(産業まつり全体 60,000人)
- 経費情報エネルギーフェア 120万円
- 参加者の反応 ニューメディアへの関心は高いものがある。特にソフトを展示し、パソコンで実技指導を行ったCAIコーナーに 特に人気があった。
- 9. 宇宙と国際通信
 - 主 催 国際電信電話㈱
 - 開催日時 平成元年9月1日(金)~24日(日)
 - · 会場名·住所 通信総合博物館 特別展示場 (千代田区大手町)
 - ・ 行 事 内 容 衛星通信を中心として、国際通信に係る知識を普及するための展示を行なった。

(展示内容)・衛星通信のあゆみに関する説明

・インテルサット及びインマルサット機構の仕組みの説 _明

・通信衛星、衛星通信用地球局の紹介 等

- · 参加人数 15,501名
- 経 費 690万円
- 参加者の反応 衛星通信の仕組みを模型やパネルを用いて、視覚的に分かりやすく説明することにより、国際通信を一層身近なものとして感じていただき、 情報化社会を実感してもらうことができた。
- 10. ソフトウェア・ショウ '89
 - ・ 主 催 働ソフトウェア情報センター
 - ・ 後 援 通商産業省、文化庁、情報処理振興事業協会、 (組情報サービス産業協会
 - 開催日時 平成元年10月2日(月)~4日(水)
 - 会場名・住所 池袋サンシャイン・シティ ワールドインポートマート (豊島区東池袋)
 - ・ 行 事 内 容 ホビーソフトウェアを除くソフトウェア全般のトレード・ショー
 - · 参加人数 70,000人
 - 参加者の反応 年々良くなっている。プレゼンテーションルームも好評であった。
- 11. 地方公共団体OAフェア
 - ・ 主 催 助地方自治情報センター

- ・ 協 賛 アイ・エヌ・エス・エンジニアリング(株)、沖電気工業(株)、(株)ぎょうせい、(株)東芝、東洋オフィスメーション(株)、日本アイ・ビー・エム(株)、日本電気(株)、日本ユニシス(株)、(株)日立製作所、(株) PFU、富士通(株)、松下電器産業(株)、三菱電気(株)、(株) リコー
- 開催日平成元年10月25日(水)~26日(木)
- · 会場名·住所 麴町会館 (千代田区平河町)
- ・ 行 事 内 容 地方公共団体向けOA機器(オフィスコンピュータ、パーソナルコン ピュータ、日本語ワードプロセッサ、光ファイルなど)の展示及び財 務会計、公文書管理、戸籍、地図管理、観光エキスパートなど50余の 行政情報システムの実演
- · 入場者数 延6,900名
- 経 費 出展社負担
- ・ 参加者の反応 地方公共団体向けのOAシステムに限ったこの種の催しが、他に例がないため、大変好評であった。
 また、会場の拡大、地方での開催等の要望があった。
 OAフェアの模様は、NHKの取材を受け、平成元年11月22日に全国放映された。
- 12. マイコンシステム&ツールフェア'89
 - ・ 主 催 俎日本システムハウス協会
 - 後 援 通省産業省

- 協 賛 情報関連団体等 6 団体
- 開催日時 平成元年10月18日(水)~19日(木)
- ・ 会場名・住所 サンシャインコンベンションホール (豊島区東池袋)
- ・ 行 事 内 容 マイクロコンピュータ応用技術に関する展示会
- · 参加人数 5,500名
- 経費2,700万円
- 参加者の反応 マイコン技術に関する専門展示会として、全国から技術者が来場し、 技術者レベルの質疑応答が多かった。

13. '89 電子ディスプレイデバイス展(ED展)

- 主 催 钳日本電子機械工業会
- · 開催日時 平成元年10月31日(火)~11月2日(木)
- 会場名・住所 科学技術館 (千代田区北の丸公園)
- ・ 行 事 内 容 液晶ディスプレイ、CRTの電子ディスプレイを中心とした素材から 応用製品までの専門展
- 参加人数 5,900人
- ・ 参加者の反応 技術関係の方を中心に専門展としての評価は高い。

14. 1989年 国際放送機器展

- · 主 催 \(\text{\dagger}\) 出日本電子機械工業会
- 後 援 日本放送協会、御日本民間放送連盟
- 開催日時 平成元年11月15日(水)~17日(金)
- 会場名・住所 サンシャインシティ コンベンションセンター TOKYO (豊島区東池袋)
- ・ 行 事 内 容 国内外の放送関係のトップレベル製品を一堂にあつめ、技術交流と需要開拓の場を提供する。
 プロオーディオ関係
 映像・放送関連機材
- 参加人数 24,357人
- ・ 参加者の反応 展示内容・シンポジウム共に大好評であった。

15. データショウ '89

- · 主 催 組日本電子工業振興協会 通信機械工業会
- · 後 援 通商産業省、郵政省、NTT、KDD
- · 開催日時 平成元年10月24日(火)~ 27日(金) 9:30~ 17:30
- 会場名・住所 東京晴海展示場 (中央区晴海)
- ・ 行 事 内 容 コンピュータおよび関連機器、周辺端末装置、コンピュータソフトウェア、コンピュータネットワーク、情報サービス、システムサービス

の展示・実演 等

- ・ 参 加 人 数 213,800人
- · 経 費 50,910万円
- ・ 参加者の反応 来場者の 1,120名に対して面接アンケートを実施し、97.1%の人たち が会社にコンピュータおよび関連機器を導入しており、さらに機器動 向把握、ソフトウェア動向把握やOA・FAに関心を持って来場され、65.6%の人が興味を持った出展機器システムがあったと答えている。

16. NTTコレクション '89

- 主 催 日本電信電話㈱
- 協 賛 NTTグループ企業
- · 開催日時 平成元年10月17日(火)~21日(土)
- ・ 会場名・住所 NTT品川TWINS (港区港南)
- ・ 行 事 内 容 NTT及びNTTグループの事業全般に関する総合プライベートショ ウ (展示会)
- · 参加人数 35,000名
- · 経 費 約 85,000万円
- ・参加者の反応 NTTの総合力、特にISDN関連のアプリケーションや技術力(R &D)に多大な評価を得るとともに、NTTにかける期待感がうかが えた。

17. 情報化プラザ i n ながおか

OAショー&フォーラム

- ・ 主 催 脚新潟県中小企業振興公社 新潟県中小企業情報センター脚日本情報処理開発協会
- 共 催 新潟県、長岡市、長岡商工会議所
- 後 援 関東通商産業局、中小企業事業団、新潟県商工会議所連合会、新潟県 商工会連合会、新潟県中小企業団体中央会、剛長岡テクノポリス機構、 第四銀行、北越銀行、新潟中央銀行、大光銀行、新潟日報社、日本経 済新聞社、日刊工業新聞社
- 開催日時 平成元年10月27日(金)~28日(土)
- ・ 会場名・住所 ・ O A ショー 長岡商工会議所ホール (長岡市坂之上町)
 - ・フォーラム 北越銀行本店ホール (長岡市大手通)
- ・ 行 事 内 容 ・OAショー 最新のOA機器・通信機器・各種汎用ソフト、各種データベース・パソコン通信等をOA機器メーカー・ソフト会社・データベース会社・団体及び当情報センターが出展し展示実演を2日間実演した。(22社団体)
 - ・フォーラム ・基調講演 三 沢 千 代 治
 「高度情報化時代における経営戦略」
 (ミサワホーム㈱代表取締役社長)
 - ・パネルディスカッション パネラー 大 原 久 治 (㈱大原商店社長)

(長岡新産業センター卸事業共同組合理事長)

パネラー 野 水 重 勝 (ツインバード工業㈱社長) パネラー 吉 井 昭 栄 (吉井国際特許事務所長)

パネラー 増 田 孝 雄 (長岡技術科学大学教授)

3-ティネ-タ- 小 柳 喜 實 (北越銀行取締役企画部長)

・ 参 加 人 数 ・ O A ショー 1,238名

・フォーラム 285名

・ 経 費 ・OAショー 90万円

・フォーラム 624万円

・ 参加者の反応 ・ O A ショー 来場された企業経営者・社会人・学生等は、各種 O A 機器・データベース・汎用ソフト・パソコン通信等に 関心が強く、日々進展する情報化社会についての認識 と理解を深めることができる行事であることから、今後とも開催する事を望む声があった。

・フォーラム 来場者よりの質問等は無いが、終了後の話題として地域に密着した内容であり、情報化の現状と今後の動向について認識を深めることができたとの評価があった。

18. 国際自動化展 '89いしかわ

· 主 催 組立自動化国際会議実行委員会 (株)日刊工業新聞社

· 後 授 中部通商産業局、石川県、金沢市、富山県、福井県 ·

- · 開催日時 平成元年10月21日(土)~24日(火)
- · 会場名·住所 石川県産業展示館1号館 (金沢市袋畠町)
- 行事内容 世界の先端的な組立自動化機器の展示
- 参加人数 25,564人
- · 経 費 2,474万円
- 参加者の反応 世界の先端的な組立自動化機器に高い関心が集まっていた。
- 19. いしかわ情報システムフェア '89
 - ・ 主 催 御石川県情報システム工業会 助日本情報処理開発協会 助石川県中小企業振興協会
 - 後 援 石川県、金沢市、中部通商産業局、北陸郵政局、北陸電気通信監理局、 石川県商工会議所連合会、石川県商工会連合会、石川県中小企業団体

中央会、(田石川県経営者協会、(田石川県鉄工協会、(田石川県繊維協会、 (明石川地場産業振興センター、(明石川県デザインセンター、石川県事 務機器産業協会、北信越工業教育協会石川県支部、(田本システムハ ウス協会、(田福井県情報システム工業会、富山県情報システム協会、 (田本パーソナルコンピュータソフトウェア協会、高度情報社会推進 北陸会議、NHK金沢放送局

- · 開催日時 平成元年10月21日(土)~23日(月)
- · 会場名·住所 石川県産業展示館 2 · 3 号館 (金沢市袋畠町)
- ・ 行 事 内 容 ①最新の情報関連機器の展示(ビジネス展, CAI展、ニューリディ7展) ②講演会・セミナー
- 参加人数 20,546人
- 経費2,166万円
- · 参加者の反応 CAIの展示などがなされたこともあり、高い関心を示していた。
- 20. ソフト・フェア in ふくい '89
 - ・ 主 催 (出福井県情報システム工業会 助日本情報処理開発協会 福井情報産業協同組合
 - 後 援 近畿通商産業局、福井県、福井市、福井県商工会議所連合会、福井商工会議所、福井県中小企業団体中央会、福井県産業振興財団、北陸システム工業会、福井新聞、日本経済新聞社、日刊工業新聞社、NHK福井放送局、福井放送、福井テレビ、FM福井

- · 開催日時 平成元年10月6日(金)~7日(土) 10:00~17:00
- · 会場名·住所 福井県産業会館 (福井市下六条町)
- 行事内容 ・新作ソフトウェア・システム展示ソフトハウス、システムハウス、コンピュータメーカーのシステム製品を展示し、地域産業および一般家庭の情報化に寄与する。
 - ・パソコン通信コーナー 誰もが情報の送り手、受け手になれることをパソコン通信を使っ て体験をする。また北海道千歳市と、特産品の紹介によるショッ ピングを行い、地域の情報発信の実験を行った。
 - ・パソコン通信を使っての教育 自分のペースに合わせ、自由な教材を選んで家庭で学習が行なえ る教育システムを展示。
- 参加人数 6,324名
- · 経 費 1,227.5万円
- 参加者の反応 ・ソフトウェアの展示回数をもっと多くしてほしい。(毎年または年2回)
 - ・家庭向けの内容がほしい。
 - ・OA機器も同時に展示してほしい。
 - ・業種別ソフトの紹介をしてほしい。 など

21. ぎふ21情報フェア

(岐阜商工会議所創立100周年記念)

· 主 催 岐阜商工会議所、㈱日本情報処理開発協会

- ・ 共 催 岐阜県情報産業協会、岐阜県商工会議所連合会、岐阜商工会議所ニューメディア研究会
- ・ 後 援 中部通商産業局、岐阜県、岐阜市、岐阜県中小企業団体中央会、岐阜県商工会連合会、側岐阜県シンクタンク、側岐阜県中小企業振興公社
- · 開催日時 平成元年10月12日(木)~14日(土) 10:00~17:00
- ・ 会場名・住所 岐阜メモリアルセンター ふれ愛ドーム (岐阜市長良福光大野)
- ・ 行 事 内 容 ①情報関連コーナー … OA等各種機器、ソフトウェア、オフィス機器等
 - ②通信関連コーナー … ISDN、通信機器など関連機器等
 - ③管理システム関連コーナー … ビル管理、セキュリティーシステムなどの関連機器等
- 入場者数 12,500人
- 経 費 2,850万円
- .
- 参加者の反応 ① I S D N を初めハイ・ビジョンさらには情報戦略システムを構築する最新鋭の情報関連機器・ソフト等に直接触れ、県民の情報化に対する認識を高めることができ、大変有意義であった。
 - ②ビジネスマンを初めとして一般社会人から主婦・学生にいたるまで 県民各層の入場があり、情報化が工場・オフィスだけでなく家庭に も身近かになっている現状が認識された。
 - ③一般県民の関心も高かったが、情報産業関係者からもおおむね好評が得られ、県内産業の振興を図るうえで意義深いものであった。

- 22. インテリジェンスフェア・イン・静岡 '89
 - 主 催 静岡商工会議所、静岡事務機器販売事業協
 - 後 関東通商産業局、他日本事務機械工業会、日本商工会議所、静岡県、 静岡市、静岡県教育委員会、静岡市教育委員会、静岡県商工会議所連 合会、静岡県商工会連合会、脚静岡県中小企業振興公社、静岡県中小 企業団体中央会、静岡県ソフトウェア事業㈱、御静岡青年会議所、静 岡市婦人団体連絡会、日本事務機器流通団体連合会、静岡文具小売商 組合、静岡県紙文具卸商事業㈱、NTT静岡支店、NHK静岡放送局、 静岡新聞社、SBS静岡放送、㈱テレビ静岡、静岡県民放送㈱、㈱静 岡第一テレビ
 - 協 賛 日本経済新聞社、日刊工業新聞社、日本工業新聞社、中部経済新聞社、 読売新聞社、毎日新聞社、産経新聞社、中日新聞社
 - · 開催日時 平成元年10月20日(金)~21日(土)
 - ・ 会場名・住所 静岡産業館 (静岡市曲金)
 - ・ 行 事 内 容 ①最先端情報関連機器から身近な〇A機器までを一堂に展示 ②パソコン体験セミナー、情報化講演会等同時開催
 - · 参 加 人 数 ①出展社数 39社 ②来場者数 7,900人
 - · 経 費 総事業費 1,063万円
 - ・ 参加者の反応 (アンケート集計結果)

①告知について

ダイレクトメールをみて来場した方が最も多く、次いで新聞広告・

記事をみてきた人が多かった。

ラジオ等のマスコミによって来場した人は比較的少なかった。

②来場の動機について

仕事に役立つということで来場した人が最も多く、次いで内容が面 白そう、上司に勧められてという人が多く、直接仕事に役立つ情報 を求めて来場した人が多かった。

- ③テーマ「現代最新のテクノロジーを個人のものに」について テーマについては、これからの課題だと思っている人が圧倒的に多 く、オフィスや個人的な情報化については緒についた段階であり、 今後の研究・開発が期待される。
- ④フェアの感想について

欲しい情報ではなかったとの批判的意見もあったが数は少なく、全体的に面白かった、また、仕事に直結して役立ったという意見が多く概ね成功裡に開催することができた。

以上のような成果を踏まえ、今後とも地域の情報化については積極的 に取り組んでいきたい。

23. あいち21産業技術情報フェア

- · 開催日時 平成元年10月18日(水)~ 20日(金)
- 会場名・住所 名古屋市中小企業振興会館 (名古屋市千種区吹上)

- 行事内容 AI、ソフトウェア・データベース、ニューオフィス&インテリジェントオフィスシステム、テクノマート等の展示・実演及び特別展として、コンピュータグラフィクスの展示・実演
 - · 参加人数 35,000人
 - · 経 費 6,975万円
 - ・ 参加者の反応 参観者アンケートによれば約94%が「来年度以降も継続して開催して ほしい」となっており、極めて好評であった。

24. メカトロニクスとソフトウェア展

- 後 援 近畿通商産業局、京都府、京都商工会議所、京都府中小企業団体中央会、(組)京都工業会、(組)京都経済同友会、(組)発明協会支部京都発明協会、 (脚)京都産業情報センター、(組)システム科学研究所、日本経済新聞社、 日刊工業新聞社、日本工業新聞社、NHK京都放送局、KBS京都、 京都リサーチパーク(株)

八洲電機㈱、ローム㈱(五十音順)

- · 開催日時 平成元年11月18日(土)~ 20日(月) 10:00~ 17:00
- ・ 会場名・住所 京都高度技術研究所および京都リサーチパーク
 - ・アトリウム (京都市下京区中堂寺南町)
- 行事内容・高度情報関連機器の展示
 - 事務処理機器の展示
 - ・メカトロニクス関連機器の展示
 - 各種ソフトウェアの展示
 - ・脚京都高度技術研究所の研究成果発表
- · 参加人数 6,500人
- 経 費 約 1,800万円
- ・ 参加者の反応 京都高度技術研究所のオープン記念行事でもあり、情報化社会の最先端に触れる機会として好評であった。出品者、来場者ともに継続的な 開催を望む声が強かった。

25. 大阪テレポートフェア

- · 主 催 大阪府、大阪市、紐関西経済連合会、大阪商工会議所、紐大阪工業会、 助大阪21世紀協会 等
- 開催日時 会議(世界テレポート連合第5回総会) 及び場所
 平成元年10月17日(火)~ 20日(金)
 ホテルニューオータニ大阪(大阪市中央区城見)
 日こん 正力二には日10日(人) 20日(人)

展示会 平成元年10月18日 (水) ~ 20日 (金) 大阪城ホール (大阪市中央区大阪城)

- ・ 行 事 内 容 会 議(世界テレホート連合第5回総会)及びテレポート関係の展示会
- · 参加人数 会議 534名 展示会 20,230名
- 経 費 11,000万円
- ・参加者の反応 会議では世界22ヵ国からテレポートの関係者が集まり「テレポートがもたらす利益」というテーマのもとに熱心な討議が行われ、展示会ではテレポートの関連機器はもとより、自治体や企業の「テレポートを基盤とした開発構想」等が展示され、今後の都市におけるテレポートの果たす役割や重要性について一般市民の認識を得るのに大いに役立った。
- 26. '89 トータルオートメーションフェア大阪 (TAF) 「大阪ビジネスフェア'89」 (第15回 O B F)
 - 主 催 関西事務機産業協会
 - 後 援 助日本情報処理開発協会、御日本事務機械工業会、日本事務機器流通 団体連合会、近畿通商産業局、近畿電気通信監理局、大阪府、大阪市、 大阪商工会議所、日本貿易振興会大阪本部、御日本電子工業振興協会、 情報処理振興事業協会、大阪文具工業連盟、助関西情報センター、 助大阪21世紀協会

 - 開催日時 平成元年11月14日(火)~16日(木) 10:00~17:00
 - 会場名・住所 OMMビル(大阪マーチャンダイズマート)展示ホール (大阪市中央区大手前)第2会場 マイドームおおさか "情報プラザ"

- ・ 行 事 内 容 昭和62年より総称を「トータルオートメーションフェア大阪(TAF)」 として、「大阪ビジネスフェア(OBF)」と「NEWプリント(電 子印刷)OSAKA」を同時開催し、内容も高度情報化・ネットワー ク化時代に対処してOA・FAそれに電子印刷関連までの最新情報・ 最新鋭技術を一堂に集結した情報発信基地構築を図り、新しい時代を 先取りするイベントとして各方面から高い関心を得た。
- 参加人数 総入場者数 50,800人
- 経 費 2,000万円
- ・ 参加者の反応 来場者層は、製造・販売・サービス業や官公庁・学校・病院・自由業 等の経営者から中堅幹部や専門職ならびに一般ビジネスマン、また設 計・研究開発・技術部門など幅広い層の来場者があった。
- 27. '89 トータルオートメーションフェア大阪 (TAF) 「NEWプリント (電子印刷) OSAKA '89」
 - 主 催 関西事務機産業協会
 - 後 援 助日本情報処理開発協会、出日本事務機械工業会、日本事務機器流通 団体連合会、近畿通商産業局、近畿電気通信監理局、大阪府、大阪市、 大阪商工会議所、日本貿易振興会大阪本部、出日本電子工業振興協会、 情報処理振興事業協会、大阪文具工業連盟、財関西情報センター、 助大阪21世紀協会
 - ・ 協 賛 (脚大阪中小企業情報センター 「マイドームおおさか情報プラザ事業」推進協議会
 - 開催日時 平成元年11月14日(火)~16日(木) 10:00~17:00
 - ・ 会場名・住所 OMMビル(大阪マーチャンタイスマート)展示ホール

(大阪市中央区大手前)

- ・ 行 事 内 容 DTPシステム、電子編集組版システム、テサインシミュレーション、クラフィックスアニメ -ション、製版・印刷一体型システム、製版機、印刷機、カラー印刷機、 丁合機、紙折機、製本機、テミネートマシン、その他関連機器の展示実演。
- 参加人数 総入場者数 50,800人
- 経 費 10,000万円
- ・参加者の反応 今回は会場を従来のインテックス大阪から、交通至便で大阪のビジネスセンターに位置する「OMMビル」(大阪市中央区大手前)を使用した事により、来場者も幅広く、日頃多忙な経営管理者やシステム部門・技術部門などの専門職の方々など従来とは異なった参観者層が来場し、会場内では出品者と参観者とのコミュニケーションが随所で見受けられた。

28. 鉄道と情報化展

- 主 催 西日本旅客鉄道㈱
- ・ 開催日時 平成元年10月26日(木)~29日(日) 11:00~19:00
- ・ 会場名・住所 大阪駅中央コンコース (大阪市北区梅田)
- 行 事 内 容 パソコン通信、会議システム、テレビ電話、旅行情報案内システム及

びニューメディア機器の展示並びに実演

- · 参加人数 4,000人
- · 経 費 237万円
- ・ 参加者の反応 全体的に若年層(20歳前後)の感心が高く、各展示コーナーで熱心な 質問が見受けられた。また、旅行情報案内システムは、サラリーマン、 旅行者等幅広い年齢層の間で注目を集めた。
- 29. 1989年 エレクトロニクスショー
 - 主 催 紐日本電子機械工業会
 - 後 援 通商産業省、郵政省、外務省、科学技術庁、大阪府、大阪市、総日本 新聞協会、日本放送協会、組日本民間放送連盟
 - 開催日時 平成元年10月19日(木)~23日(月)
 - ・ 会場名・住所 インテックス大阪 (大阪市住之江区南港北)
 - ・ 行 事 内 容 内外における電子機器および電子部品を一堂に展示し、躍進するエレクトロニクスの技術水準を広く紹介する。
 - 参加人数 254,763人
 - ・ 参加者の反応 技術に携わる来場者が多く、新製品、新技術等の情報収集に非常に役立つと好評であった。
- 30. ニューオフィスフェア '89大阪

- ・ 主 催 ニューオフィスフェア '89大阪 実行委員会
- ・ 協 カ 俎ニューオフィス推進協議会
- · 協 替 日本貿易振興会大阪本部、総大阪21世紀協会
- · 開催日時 平成元年10月31日 (火)~11月2日 (木)
- ・ 会場名・住所 インテックス大阪5号館・国際会議ホール等 (大阪市住ノ江区南港北)
- ・ 行 事 内 容 物質的には豊かになった時代の到来した中で、オフィスを単なる作業 の場から"人間生活の場""情報化の中核の場"となるよう「豊かさ」 「ゆとり」「うるおい」「楽しさ」などを追求する職場環境の実現を 目的とする。
- · 参加人数 49,750人
- · 経 費 60,000万円
- 31. ニューメディア展示会

- ・ 主 催 兵庫県、兵庫ニューメディア推進協議会
- 開催日時 平成元年10月18日 (水)
- · 会場名·住所 兵庫県民会館 (神戸市)
- ・ 行 事 内 容 最新の情報通信機器の中から県民の関心が高いものを選んで展示し、 来場者に対して係員が説明を行った。
- 参加人数 500人
- 経費約50万円
- ・ 参加者の反応 最新の情報通信機器を実際に触って、その機能を確認できたことで参加者には好評であった。
- 32. 熊本テクノポリス '89「マイ・タッチ」フェア
 - ・ 主 催 熊本テクノポリス財団 他4団体
 - 後 援 熊本県、小学校長会 他9団体

 - 開催日時 平成元年11月5日(日)~6日(月)
 - ・ 会場名・住所 熊本県テクノポリスセンター (熊本県上益城郡益城町)
 - ・ 行 事 内 容 児童・生徒のコンピュータグラフィック展示

高校によるパソコン通信実演 工業高校によるロボット展示 他

- 参加人数 8,000人
- · 経 費 490万円
- ・ 参加者の反応 子どもたち中心のフェアであったが、家族連れのほか学校単位での見 学もあり、目標入場者を2倍以上上回った。 教師対象の教育ソフトの講習会も実施し、好評であった。
- 33. ソフトピア '89 - ソフトパークの完成 1 周年を記念して-

 - ・ 後 接 九州通商産業局、NHK大分放送局、OBS大分放送、TOSテレビ 大分
 - 協 賛 富士通㈱大分支店、㈱東芝、㈱富士通大分ソフトウェアラボラトリ、 (㈱日立製作所、㈱大分電子計算センター、松下電器産業㈱、大分情報 システム㈱、㈱トキハ、㈱ファコミック、大分県日産グループ、総合 技術工学院、日本アイ・ビー・エム㈱、日本電信電話㈱大分支社、日 本電気㈱大分支店、大分交通㈱、九州電子計算機専門学校大分校
 - ・ 開催日時 平成元年11月10日(金)~12日(日) 10:00~16:00

- ・ 会場名・住所 ソフトパーク(大分市東春日町) ソフトパークセンタービルをメイン会場とし、パーク内の立地企業ご との特設会場
- 行事内容 ソフトパークへの誘(いざな)い――楽しく遊び、楽しく学べるソフトパーク――をメインテーマとし、パーク内立地企業や協賛企業が企画する諸行事等を通じ、県民一人ひとりが情報化について一層の関心を高めてもらうことを目的に、展示会を開催した。
- · 参加人数 36,000人
- 経費800万円
- ・ 参加者の反応 会期中の3日間は好天に恵まれ、36,000人の来場者を記録するなど、 ソフトパークのPRや、先端技術と情報化への一層の関心を高めても らうという目的が十分達成され、予想以上の成功であった。

Ⅵ 講演会・セミナー・シンポジウム等

- 1. わが国における主要なデータベースシステムの概要 及び科学技術情報ネットワークシステム等の現況について
 - ・ 主 催 ㈱ニューメディア開発協会㈱テクノポリス函館技術振興協会函館商工会議所函館市
 - ・ 後 援 函館地域ニューメディア推進協議会
 - ・ 協 カ 側日本テクノマート北海道支部、函館インフォメーション•ネットワーク㈱
 - · 開催日時 平成元年10月12日(木)
 - 会場名・住所 北海道立工業技術センター (函館市桔梗町)
 - · 行 事 内 容 ·講 演 会 長 谷 川 光 夫 (㈱北海道拓殖銀行調査部次長)
 - ・技術講習会 上 田 浩 (M)日本テクノマート東京本部企画開発) 第2部長

側日本テクノマートの現況と活用について説明

泊 出 利 雄 (函館インフォメーション•ネットワーク㈱) 企画開発室長)

キャプテンシステムの現況と活用について説明

- · 参加人数 80名
- 経費約53万円
- 2. 高度情報社会と企業経営
 - ・ 主 催 働テクノポリス函館技術振興協会

函館商工会議所 函館市

- 開催日時 平成元年10月9日(月) 14:30 ~ 16:00
- 会場名・住所 函館国際ホテル (函館市大手町)
- 行事内容 関本忠弘(日本電気㈱ 社長)
- 参加人数 200名
- 経 費 約 18万円
- 3. 北海道地区行政管理セミナー
 - 主 催 北海道地区行政管理改善連絡会議
 - · 開催日時 平成元年10月3日(火)~6日(金)
 - ・ 会場名・住所 札幌第一合同庁舎 2 階講堂 (札幌市)

• 行事内容

月日	講演名	講 師 名
10月3日 (火)	北海道経済の活性化について	北海道拓殖銀行 専務取締役 石 黒 直 文
	北海道経済の現状と課題	北海道大学経済学部 教 授 真 野 脩
10月4日 (水)	職員の能力開発	北海学園大学経済学部
	- 職場活性化と部下の育成 -	教 授 後 藤 啓 一
	行政情報タステムの現状と課題	総務庁行政管理局 行政情報システム参事官 稲 葉 清 毅
	市町村行政の実際	赤井川村
	- ミニ村のあがき-	村長神原秀一
10月5日 (木)	行政評価と決定	北海道未来総合研究所
		専務理事 原 勲
	心と身体と生活環境の健康	幌南病院産婦人科
		医 長 菊川 寛
	消費者保護と行政	北星学園女子短期大学
		教 授 山 本 順 子
10月6日	高度情報化社会の現状と課題	NTT北海道支社
		副支社長 森 下 俊 三
(金)	マスコミからみた政治と行政	北海道新聞社
		論説主幹 小野喜一

- · 参加人数 100名
- 経 費 約 40万円

- 4. 今、情報感性を限りなく高め情報発信型企業へ
 - ・ 主 催 脚室蘭テクノセンター・ 助日本情報処理開発協会・ 助北海道地域技術振興センター
 - 後 援 北海道通商産業局、北海道、室蘭市、登別市、伊達市、室蘭商工会議所、N
 財 所、室蘭市産業教育センター、登別商工会議所、伊達商工会議所、N
 日 K 室蘭放送局、北海道新聞社、室蘭民報社、北海道電力㈱室蘭支店
 - · 開催日時 平成元年10月23日(月) 14:00 ~ 17:00
 - 会場名・住所 中島神社 蓮峡殿 (室蘭市宮の森町)
 - 行事内容 遠山 暁(中央大学商学部教授)
 「企業経営と情報活動のあり方」(基調講演)
 吉沢 鉱(NHK室蘭放送局放送部副部長)
 「今、情報感性を限りなく高め情報発信型企業へ!」(パネル討論会)
 - · 参加人数 210名
 - 経費約70万円

- 5. 情報化時代の経営戦略
 - -中小企業生き残りの分岐点 意思決定のための情報活用-
 - ・ 主 催 助岩手県中小企業振興公社 助日本情報処理開発協会

 - ・ 開催日時 平成元年10月26日(木) 13:00~15:45
 - ・ 会場名・住所 ホテル東日本 (盛岡市)
 - ・ 行 事 内 容 「情報化時代の経営戦略」
 - 中小企業生き残りの分岐点・意思決定のための情報活用-
 - ・基調講演 石 黒 重 光 (㈱マネシチントエンタニアリンケ研究所 代表取締役)
 - ・パネルディスカッション コーディネーター 久木田禎一 アトバイザー 石 黒 重 光 パネリスト 片 方 苫 子、平 川 真 人、宮臺雄登三
 - ・ 参 加 人 数 158名
 - · 経 費 約 51万円
- 6. 東北地区行政管理セミナー
 - 主 催 総務庁東北管区行政監察局
 - · 開催日時 平成元年10月31日(火)
 - · 会場名·住所 仙台商工会議所大講堂 (仙台市)

• 行事内容

講演名	講 師 名
スキー場を核としてたまちづくり	七ヶ宿町長
	安藤昭一
東北インテリジェント・コスモス 構想について	東北経済連合会 副会長
情報化への行政の対応・	総務庁行政管理局
	行政情報システム企画課長 瀧 上 信 光

- ・ 参 加 人 数 110名
- · 経 費 約 33万円
- 7. 東北・北海道ブロック技術・市場交流プラザ
 - ・ 主 催 中小企業事業団 秋田県

 - ・ 協 賛 秋田県異業種技術交流プラザ、テクノあきた '89、秋田異業種交流会
 - · 開催日時 平成元年10月12日(木)~13日(金)
 - ・ 会場名・住所 秋田ビューホテル (秋田市)

• 行 事 内 容 基調講演(草柳大蔵:評論家)

分科会

交流パーティー

展示会

- · 参加人数 520名
 - · 経 費 145万円
- 8. '89 地域情報化セミナー

- データベース活用の実際 -

· 主 催 酒田市

酒田商工会議所

脚庄内地域産業情報化推進プラザ

㈱ニューメディアネット庄内

- · 開催日時 平成元年10月25日(水) 13:30 ~ 16:20
- 会場名・住所 庄内情報プラザ (庄内市中町)
- 行事内容 ・吉川秀紀(㈱平和情報センターデータベースサービス部)「こんなふうにデータベースは活用できる」
 - ・データベスース接続実演
 - 参加人数 65名
 - 経費約27万円

9. 情報化相談室

主 催 福島県中小企業団体中央会

1. 開催日時 平成元年11月10日(金)

会場名・住所 福島県中小企業団体中央会 いわき支部

(いわき市梅本)

行 事 内 容 情報化に関する相談会

共同店舗におけるSA化・OA化

参加人数 8人

経 費 6.3万円

2. 開催日時 平成元年9月4日(月)

会場名・住所 本会相双支部

(原町市錦町)

行 事 内 容 情報化に関する相談会

共同店舗におけるSA化・OA化

参加人数 6人

経 費 6.4万円

3. 開催日時 平成元年9月4日(月)

会場名・住所 本会会津若松支部

(会津若松市追手町)

行 事 内 容 情報化に関する相談会

組合スタンプ事業のカード化・OA化

参加人数 6人

経 費 6.7万円

10. 行政と情報システム

· 主 催 総務庁行政管理局

・ 開催日時 平成元年11月1日(水) 13:10 ~ 16:35

- ・ 会場名・住所 全社協ホール(千代田区霞が関)
- 行事内容 講 演 「情報の文化生態学」

(講師) 国際大学教授 西山 賢 一パネルディスカッション 「AIの応用と未来」

- 行政機関における人工知能の応用-」

[コーティネーター] 通商産業省工業技術院

電子技術総合研究所 田村浩一郎

[パネリスト] 評論家 栗田昭平

㈱CSK総合研究所 矢 田 光 治

東京都都市計画局 伊藤博夫

- 参加人数 200名
- 経 費 約 54万円
- 11. 鉄道旅行と情報について
 - 主 催 運輸省運輸政策局
 - · 開催日時 平成元年10月12日(木) 14:00 ~ 16:00
 - ・ 会場名・住所 運輸省 会議室(千代田区質が関)
 - 行事内容種村直樹(レイルウェイライター)「鉄道旅行と情報について」
 - · 参加人数 85名
 - 経費約2万円

12. 電子計算機利用に関する技術研究会研究発表会

- ・ 主 催 電子計算機利用に関する技術研究会(工業技術院)
- 開催日時 平成元年10月12日(木)~13日(金)
- ・ 会場名・住所 機械振興会館(港区芝公園)
- ・ 行 事 内 容 昭和63年度に行った当研究会の成果発表
 エンドユーザ・コンピューティングの浸透にともない、今後の情報処理の在り方について有識者の報告
- ・ 参 加 人 数 255人

13. システム監査講演会

- ・ 主 催 EDPユーザー団体連合会
- · 開催日時 平成元年10月11日(水) 10:00 ~ 18:45
- ・ 会場名・住所 東京郵便貯金ホール (港区芝公園)
- · 行 事 内 容 林 良 造(通商産業省 機械情報産業局 情報処理振興課長) 「情報化推進施策」
 - 宮 川 公 男 (一橋大学商学部 教授) 「システム監査の進路」
 - 細 見 康 夫 (東京計算サービス(株) 研究開発部長) 「コンピュータウィルスの動向と対策」
 - 高 梨 智 弘(日本公認会計士協会 情報システム委員長) 「経営に係わる情報システムの監査」
 - 小 澤 弘 (㈱野村総合研究所 監理室 次長) 「SIとシステム監査」

- · 参加人数 1,417人
- · 経 費 534万円

14. 世界における医療情報システムの展望

- 開催日時 平成元年10月27日(金)
- ・ 会場名・住所 全社協(全国社会福祉協議会)ホール (千代田区霞が関)
- ・ 行 事 内 容 開 原 成 允(東京大学医学部 教授)
 「医療情報システム・各国の動向」
 高 橋 隆(京都大学医学部 教授)
 「ヨーロッパにおける医療情報システムの展望」
- 参加人数 162名
- ・ 経 費 42万円

15. 医療におけるパソコン簡易言語活用セミナー

- · 開催日時 平成元年10月7日(土) 13:30 ~ 16:30
- · 会場名·住所 社会文化会館(千代田区永田町)

- ・ 行 事 内 容 パソコン用簡易言語の医療における応用についてセミナーを開催した。
- 参加人数 100名
- 経 費 30万円

16. Tネット構想について

- ・ 主 催 助運輸経済研究センター
- 後 援 運輸省
- · 開催日時 平成元年10月18日(水) 14:00 ~ 16:00
- 会場名・住所 東海大学校友会館(霞が関ビル33階)(千代田区霞が関)
- ・ 行 事 内 容 八 木 正 夫(鉄道情報システム㈱ 常務取締役) 「Tネット構想について」
- · 参加人数 60名
- ・ 経 費 約8万円

17. ネットワーク新時代と社会の対応

- ・ 主 催 は行政情報システム研究所
- 後 援 日本自転車振興会
- · 開催日時 10月23日(月)~ 25日(水)

- ・ 会場名・住所 麻布グリーン会館 (港区六本木)
- 行事内容

月日	テ ー マ	講 師
10 月 23 日 (月	情報通信ネットワーク・システム (ISDN)の現況と今後の展望	日本電信電話㈱ 主幹技師 河 辺 候 一
	業界のVANの現状と展望	㈱プラネット 専 務 玉 生 弘 昌
10 月 24 日 (火)	OSIの適用事例	NTTデータ通信㈱ 担当部長 正 呂 地 優
	ネットワーク化の経済・産業構造	東京大学 教授
	への影響	竹 内 啓
10月25日(水)	OSIの現状と課題	東京大学 教授 齋 藤 忠 夫
	ネットワーク社会の展望と課題	(株)旭リサーチセンター 取締役 名和小太郎

• 参加人数 240名

18. AVA '89

- 主 催 国際映像ソフトウェア推進協議会
- 共 催 通商産業省
- ・後 文化庁・東京都、断医療情報システム開発センター、(土)映像文化製作者連盟、他全日本テレビ番組製作者連盟、電子ネットワーク懇談会、(土)日本アミューズメントマシン工業会、(土)日本印刷産業連合会、(土)日本映画テレビ技術協会、日本映像学会、(土)日本リンピュータ・グラフィックス協会、(土)日本電子機械工業会、日本電子出版協会、(土)日本ビデオ協会、(土)日本民間放送連盟、(土)コーメディア開発協会、(土)の金融の関発センター

- · 開催日時 平成元年11月14日(火)~ 15日(水)
- 会場名・住所 TEPIA (港区青山)スペース・ゼロ(渋谷区)
- ・ 行 事 内 容 A V A グランプリの選考・表彰A V A インターメディアフォーラムの開催
- ・ 参 加 人 数 701名(延べ)
- 経 費 7,000万円
- 19. CICC INTERNATIONAL SYMPOSIUM '89
 - アジア情報化協力・人材ネットワークシンポジウム -
 - ・ 主 催 ㈱国際情報化協力センター
 - 後 援 通商産業省
 - 開催日時 平成元年10月24日(火)、25日(水)、27日(金)
 - ・ 会場名・住所 芝パークホテル (港区芝公園)
 - ・ 行 事 内 容 ・人材ネットワークについて講演ならびにパネルディスカッション
 - ・東南アジア地域のコンピュータ関係要人による各国の情報化動向に ついての報告
 - ・当財団の活動状況と今後の途上国への支援、協力について意見交換

- · 参加人数 150名
- 20. JISAコンベンション '89 -未来へのチャレンジー
 - ・ 主 催 は情報サービス産業協会
 - 後 援 通商産業省、(組経済団体連合会
 - 協 賛 做日本電子工業振興協会、 助日本情報処理開発協会
 - 開催日時 平成元年10月3日(火) 9:30 ~ 17:30 10月4日(水) 9:30 ~ 17:00
 - 会場名・住所 東京全日空ホテル(港区赤坂)
 - 行事内容 加藤 寛(慶応義塾大学 教授)
 他講演6、パネルディスカッション1、特別企画1を2日間にわたり開催した。
 - 参加人数 2,000名
 - 経 費 約 13,862千円
- 21. SEMINER WEEK '89 NOVEMBER
 - ・ 主 催 俎情報サービス産業協会
 - 共 催 脚日本情報処理開発協会中央情報教育研究所

- · 開催日時 平成元年11月7日(火)~ 10日(金) 9:30~ 16:30
- · 会場名·住所 機械振興会館(港区芝公園)
- ・ 行 事 内 容 4日間にわたり技術研修セミナー14講座を開催した。
- · 参加人数 1,120名
- 経 費 約 15,000千円

22. 情報化社会と女性

- 主 催 助情報処理教育研修助成財団
- · 開催日時 平成元年10月30日(月) 13:30 ~ 16:00
- 会場名・住所 御日本交通協会大会議室 (千代田区丸の内)
- 行事内容 青木 雨 彦 (評論家)
 上野 千 鶴 子 (京都精華大学 助教授)
 ダグラス・ラミス (津田塾大学 教授)
 松本 侑 壬 子 (共同通信文化部記者)
 の4氏によるパネルディスカッション
- ・ 参 加 人 数 70名
- 経費約50万円

23. 技術センター 技術発表会

- ・ 主 催 情報処理振興事業協会 技術センター
- 開催日時 平成元年10月23日(月) 9:30 ~ 17:30
- ・ 会場名・住所 東京農林年金会館(虎ノ門パストラル) (港区虎ノ門)
- 行事内容 昭和63年10月から平成元年9月までの研究成果発表
- · 参加人数 400名
- ・経費約500万円

24. 高度情報化社会の脆弱性とパックアップ対策

- ・ 主 催 システム監査学会
- · 開催日時 平成元年11月17日(金)
- 会場名・住所 機械振興会館ホール(港区芝公園)
- ・ 行 事 内 容 基 調 講 演 「情報資源管理におけるシステム監査の役割」

宮 川 公 男(一橋大学)

特 別 講 演 「米国におけるハックアッフサーヒスの現状と今後の方向」

ション A. シャクソン (コムディスコ社)

パネルディスカッション 「情報資産の保護とバックアップ対策のあり方」

パネリスト 安保二見男(日本コンピュータセキュリティ)

荒 木 襄(東京海上火災)

小 橋 亨(日本電気)

林 良 造(通商産業省)

コーディネイター 田 口 孝 弘(国際ファヴィ工学研究所)

- · 参加人数 250人
- 経費約50万円
- 25. 物流情報システム化への示唆 (中小企業がどう取り組むべきか)
 - ・ 主 催 組全日本トラック協会
 - 後 援 運輸省
 - · 開催日時 平成元年10月20日(金) 13:30 ~ 17:00 ·
 - 会場名・住所 トラック会館 (新宿区四谷)
 - ・ 行 事 内 容 中小企業におけるコンピューター利用について、事例紹介と今後の可能性等について討論した。

コーティネーター 大 沼 広 洲 (知全日本トラック協会流通企画部長)

パネラー 森 岡 進 一(セイモス情報開発研究所営業部長)

田 中 徳 忠 (丸善㈱電子計算機事業部 第3営業総括部課長)

後 藤 広 喜 (タイガー計算器販売㈱営業部 営業第2課長)

- · 参加人数 50人
- · 経 費 約 10万円
- 26. コンピュータ・ソフトウェアの法的保護に関する国際シンポジウム
 - ・ 主 催 働ソフトウェア情報センター

- ・ 後 選 文化庁、通商産業省、씞情報サービス産業協会、씞日本電子工業振興協会、御日本パーソナルコンピュータソフトウェア協会、씞著作権資料協会、著作権法学会
- 協 賛 日本経済新聞社、日刊工業新聞社
- 開催日時 平成元年11月7日(火)~8日(水)
- · 会場名·住所 明治記念館(港区赤坂)
- ・ 行 事 内 容 インタフェースの法的保護
 - (1) ユーザ・インタフェース
 - (2) 通信プロトコル
 - (3) OS関連インタフェース
- 参加人数 250名
- · 経 費 約 2,800万円

27. TICC講演会

- 主 催 中小企業事業団
- · 開催日時 平成元年10月2日(月) 14:00 ~ 16:30
- ・ 会場名・住所 TICC (中小企業技術・市場情報交流センター)(港区)
- ・ 行 事 内 容 「多品種変量生産における生産管理のポイント(その2)製造システム」というテーマで講演会を行った。
- 参加人数 30名

28. データベース構築促進及び技術開発に関する成果の普及

- ・ 主 催 (財データベース振興センター
- ・ 開 催 日 時 平成元年10月5日(木) 10:00 ~ 16:35 10月6日(金) 10:00 ~ 16:10
- 会場名・住所 機械振興会館(港区芝公園)
- ・ 行 事 内 容 昭和63年度委託課題(24課題)の成果の普及
- ・ 参 加 人 数 155名
- · 経 費 約 78万円

29. ISDNの応用とその将来

- ・ 主 催 鉄道情報システム(株)東日本旅客鉄道(株)日本テレコム(株)
- ・ 後 援 運輸省
- · 開催日時 平成元年10月25日(水) 14:00 ~ 16:00
- 会場名・住所 日本教育会館 大会議室 (千代田区一ツ橋)
- ・ 行 事 内 容 齋 藤 忠 夫(東京大学教授) 「ISDNの応用とその将来」

- · 参加人数 230人
- · 経 費 45万円
- 30. 交通・運輸におけるICカードの利用
 - 主 催 锄鉄道総合技術研究所
 - 後 援 運輸省

 - · 開催日時 平成元年10月25日(水) 10:00 ~ 16:00
 - ・ 会場名・住所 ヤマハホール (中央区銀座)
 - ・ 行 事 内 容・講 演
 - 曽根 悟(東京大学工学部 教授)

「ICカードによる便利な乗り物の可能性」

- 金 丸 純 一 (運輸省運輸政策局情報管理部情報処理課長) 「運輸業におけるカード化の進展について」
- ・パネルディスカッション

「交通システムにおけるICカードの利用はどこまで進むか」

司 会 曽 根 悟

パリスト 福 西 幸 夫 (東日本旅客鉄道㈱鉄道事業本部) 施設電気部長/

小 田 博 基(近畿日本鉄道㈱技術研究所部長)

中 津 川 庸 治 (神奈川中央交通㈱運輸部次長)

三木彬生

- · 参加人数 410名
- ・ 経 費 約 395万円

31. 日独情報化社会シンポジウム

- 主 催 脚電気通信政策総合研究所 脚未来工学研究所 (組)日本能率協会
 - ・ 後 援 (脚電気通信普及財団、脚放送文化基金、) 脚国際コミュニケーション基金
 - · 開催日時 平成元年9月11日(月)~12日(火)
 - ・ 会場名・住所 ドイツ文化会館ホール (港区赤坂)
 - · 行 事 内 容 基調講演
 - ・児 島 光 雄(国際電信電話㈱ 副社長) 「ビジュアル・コミュニケーションの発展と社会的意義」
 - ・エベルハルト・ビッチ(ミュンヒナー・クライス会長)「社会に対するビジュアル・コミュニケーションの意義」
 - ・ 参 加 人 数 日 本 側 190名 ドイツ側 20名
 - · 経 費 約 1,300 万円

32. OA賞受賞記念講演会

- ・ 主 催 御日本オフィスオートメーション協会
- · 開催日時 平成元年9月25日(月)~26日(火) 9:00~ 17:20

- ・ 会場名・住所 東京ステーショシンホテル (千代田区丸の内)
- ・ 行 事 内 容 OA化実践に優れた成果を挙げ平成元年度にOA賞を受賞した企業から実践的なOA化事例を学ぶ。
- · 参加人数 120名
- · 経 費 約 180万円

33. 情報科学技術研究集会

- ・ 主 催 日本科学技術情報センター
- 後 援 科学技術庁、日本学術会議、日本図書館協会、専門図書館協議会、情報科学技術協会、脚日本特許情報機構
- 協 賛 助日本規格協会、御日本経営協会、御発明協会、日本マイクロ写真協会、 助日本情報処理開発協会、東京情報流通研究会
- 開催日時 平成元年10月5日(木)~6日(金)
- 会場名・住所 全共連ビル(千代田区平河町)
- ・ 行 事 内 容 特 別 講 演:テーマ「瀬戸大橋建設における技術と情報」 講 師 杉 田 秀 夫 翊海洋架橋調査会 常務理事 パネルディスカッション:テーマ「情報の流通を考える」 - その現状と課題 その他、情報科学技術に関する25テーマの研究発表があった。
- · 参加人数 延780名

· 経 費 約 320万円

34. 衛星通信時代の幕開け

- ・ 共 催 知日本コンピュータ・ユーティリティ協会 NTTデータ通信(株)
- · 開催日時 平成元年10月24日(火) 13:30 ~ 15:00
- ・ 会場名・住所 新霞ヶ関ビル 全社協ホール (千代田区霞ヶ関)
- ・ 行 事 内 容 熊谷和紀(スター・コミュニケーションズ㈱ 取締役企画部長) 「衛星通信時代の幕開け」
- · 参加人数 150名
- 経費約55万円

35. コンピュータの冒険

- ・ 主 催 日本システム工学会
- · 開催日時 平成元年10月13日(金) 13:30 ~ 16:40
- · 会場名·住所 ㈱三菱総合研究所 (千代田区大手町)
- ・ 行 事 内 容 ・長 瀬 真 理(東京女子大文理学部 助手) 「コンピュータによる文章解析」
 - ・浜 野 保 樹(放送教育開発センター 助教授)

「コンピュータの誤算:ユーザーインタフェース」

·表 佑太郎(㈱大林組技術研究所)

「スーパーコンピュータによる土木建築分野の

数値シミュレーション可視化」

- 参加人数 33名
- 経 費 約7万円

36. JASAフォーラム

- ・ 主 催 御日本システムハウス協会
- 後 援 通商産業省
- · 協 賛 情報関連団体 6 団体
- ・ 開催日時 平成元年10月18日(水)
- ・ 会場名・住所 サンシャイン 集会室 (豊島区東池袋)
- ・ 行 事 内 容 マイクロエレクトロニクスに関する講演会
- · 参加人数 110名
- 経費約560万円

37. 情報化国際講演・討論会

• 主 催 助日本情報処理開発協会

- 後 援 通商産業省
- ・ 協 賛 知情報サービス産業協会、システム監査学会
- ・ 開催日時 平成元年10月19日(木)
- 会場名・住所 経団連会館 経団連ホール (千代田区大手町)
- 行事内容 テーマ「ネットワーク社会とセキュリティ」講師:ドン・パーカー(SRIインターナショナル)他4名
- · 参加人数 400名
- 経費約710万円

38. EDIの現状と展望

- 主 催 (社)日本情報通信振興協会国際VAN(株)
- · 開催日時 平成元年10月3日(火) 10:00 ~ 16:20
- 行事内容 基調講演 郵政省 データ通信課長 有富 寛一郎
 講師 EDI INC 社長 ラルフ W. ノト 他2名
 (講師3名はいずれも米国人)
- 参加人数 120名

- 経 費 約 330万円
- 39. 企業戦略としてのロジスティックスと情報システムオープンシステム革命
 - 主 催 知日本船主協会
 - 後 援 運輸省
 - · 開催日時 平成元年10月3日(火) 13:00 ~ 17:00
 - ・ 会場名・住所 日本海運俱楽部 大ホール (千代田区平河町 海運ビル)
 - ・ 行 事 内 容 以下のテーマによる講演会を行った。
 - ・「企業戦略としてのロジスティックスと情報システム」 講師:北澤 博 (三菱総合研究所 顧問)
 - 「オープンシステム革命」

講師:Bill Totten (㈱アシスト 代表取締役社長)

- · 参加人数 100名
- ・ 経 費 約 70万円
- 40. 最近のデータ通信をめぐる諸問題
 - ・ 主 催 助日本データ通信協会
 - 後 援 郵政省

- ・ 協 賛 EDPユーザー団体連合会
- · 開催日時 平成元年10月18日(水) 14:00 ~ 16:00
- ・ 会場名・住所 安田生命ホール (新宿区西新宿)
- 行事内容 「最近のデータ通信をめぐる諸問題」
 郵政省 電気通信局 電気通信事業部
 データ通信課長 有富寛一郎
- · 参加人数 370名
- 経 費 160万円
- 41. '89 日本情報・通信システム ユーザーズコンベンション
 - ・ 主 催 知日本データ・プロセシング協会(日本情報・通信システム・ユーザー機構)
 - 後 援 通商産業省
 - · 開催日時 平成元年9月25日(月) 10:00 ~ 16:30
 - ・ 会場名・住所 日本海運倶楽部 国際会議場 (千代田区平河町 海運ビル)
 - ・ 行 事 内 容 基調講演 唐 津 一(東海大学 教授)
 「情報技術の発展と産業情報化の今後」
 円卓会議 松 岡 進 士 郎(㈱大林組理事・電子計算センター所長)
 ほか現役のシステム部門長14名

- · 参加人数 190名
- 経 費 360万円

42. NTT国際シンポジウム

- 主 催 日本電信電話㈱
- 開催日時 平成元年10月20日(金)
- ・ 会場名・住所 経団連会館 経団連ホール (千代田区大手町)
- ・ 行 事 内 容 テーマ「通信システムにおけるAI技術の応用」
 - ・講演ならびに質疑討論
 - ・展示
 - ・レセプション
- · 参加人数 350名

43. 「DTP/LBP」セミナー

- ・ 主 催 御日本パーソナルコンピュータソフトウェア協会
- 開催日時 平成元年10月12日(木)
- 会場名・住所 麴町会館(千代田区平河町)
- ・ 行 事 内 容 DTP及びLBPメーカーが自社製品のデモンストレーションを行ない、現在のソフト・ハードが可能にできる印字精度、簡易印刷について報告を行なった。

- · 参加人数 25名
- · 経 費 20万円

44. 「ハイパーテキスト」セミナー

- ・ 主 催 (社)日本パーソナルコンピュータソフトウェア協会
- · 開催日時 平成元年10月31日(火)
- · 会場名·住所 麴町会館(千代田区平河町)
- 行事内容 浜野保樹 (放送教育開発センター助教授)
 「ハイパーテキスト概論」
 トロイヘルム (アッフルコンピュータシャハン(株)) デモンストレーション山崎俊一 (㈱ジーク 取締役副社長)
 「ハイパーテキストのテクニカルコンセプト」
 富士ゼロックス(株) デモンストレーション
- · 参加人数 45名
- 経費25万円

45. 「DV-I」セミナー

- ・ 主 催 俎日本パーソナルコンピュータソフトウェア協会
- · 開催日時 平成元年10月19日(木)
- ・ 会場名・住所 新丸ビル 会議室

(千代田区丸の内)

- · 行 事 内 容 堀 内 道 夫 (㈱新学社 常務取締役) 「D V I 概論」
 - 山 崎 俊 一 (㈱ジーク 取締役副社長) 「DV-Iの可能性」

渡 辺 誠 一 郎 (インテルジャパン(株)) デモンストレーション

- · 参加人数 20名
- 経 費 18万円
- 46. 「アップルMacintoshの日本語環境」セミナー
 - ・ 主 催 は日本パーソナルコンピュータソフトウェア協会
 - 開催日時 平成元年10月6日(金)
 - · 会場名·住所 麴町会館(千代田区平河町)
 - 行事内容 Macintoshのシステムモジュール、漢字Talk、フォント、 FEPに関して加藤光彦(アップルコンピュータジャパン㈱)により、 その構成について説明を受け、山下道明(㈱エルゴソフト)より、M ac用FEP開発について講演を受けた。
 - ・ 参 加 人 数 40名
 - · 経 費 25万円
- 47. 「PCESとCADソフトの現状」セミナー
 - ・ 主 催 御日本パーソナルコンピュータソフトウェア協会

- 開催日時 平成元年10月3日(火)
- · 会場名·住所 麴町会館(千代田区平河町)
- ・ 行 事 内 容 松本 勉 (㈱ランド 代表取締役)、竹原 司 (デザイン・オートメ ーション㈱ 代表取締役社長)により、パーソナルCAD用標準デー タフォーマットPCESの説明と普及協議会設置の案内を行い、CA Dメーカー 2 社によるデモンストレーションを行なった。
- · 参加人数 32名
- ・経費25万円
- 48. 高度情報化社会と地域の情報化

(ニューメディア・コミュニティ構想実施 5周年記念シンポジウム) (脚ニューメディア開発協会発足

- ・ 主 催 (財)ニューメディア開発協会
- 共 催 通商産業省
- · 開催日時 平成元年10月31日(火)
- 会場名・住所 パレスホテル チェリールーム (千代田区丸の内)
- · 行 事 内 容 基調講演 山 本 幸 助(通商産業省機械情報産業局長)

「ニューメディア・コミュニティ構想 5周年を迎えて」

特別講演 牧 野 昇 (三菱総合研究所 会長)

「情報社会・これからの10年」

パネルディスカッション

「地域情報化の推進を考える」

パネラー 安藤哲郎(網走市長)

小 澤 三 郎 () 関横浜・神奈川総合情報 センタ- 常務理事)

松 本 徹(米子市長)

大 越 孝 敬 (東京大学 教授)

根 橋 正 人 (㈱ニューメディア開発協会理事長)

- 参加人数 200名
- 経 費 約 290万円

49. 法とコンピュータ学会研究会

- ・ 主 催 法とコンピュータ学会
- 開催日時 平成元年10月21日(土)
- · 会場名·住所 中央大学駿河台記念館 (千代田区神田駿河台)
- · 行 事 内 容 · 個別報告
 - ・シンポジウム「パソコンソフトをめぐる法的諸問題」
- · 参加人数 100名

50. 21世紀の都市像を考える

- 主 催 日刊工業新聞社 情報化未来都市構想推進協議会
- · 後 援 通商産業省 東京都、大阪府、愛知県、())経済団体連合会、())関西経済連合会、())中部経済団体連合会

- 開催日時 平成元年10月2日(月)
- ・ 会場名・住所 東京会場 科学技術館(千代田区北の丸公園)大阪 "大阪科学技術センター(大阪市西区靱本町)名古屋" 愛知厚生年金会館(名古屋市千種区池下町)
- ・ 行 事 内 容 通信衛星を使用し、東京・大阪・名古屋の3会場をリアルタイムで結び、行政、産業界、学識経験者 合計11名によって、よりよい21世紀の都市創りについて、その進捗状況や課題、将来へ向けての方策等についてパネルディスカッションを行なった。
- 参 加 人 数 東京 450名 大阪 250名 名古屋 150名 合計 850名
- · 参加人数 東京 450名 大阪 250名 名古屋 150名 合計 850名
- 経 費 約 2,700万円
- 51. 港湾倉庫と情報化 物流における情報化の動向
 - 主 催 紐日本倉庫協会 神奈川倉庫協会
 - 後 援 運輸省
 - · 開催日時 平成元年10月4日(水) 13:00 ~ 16:00
 - 会場名・住所 横浜商工会議所 会議室

(横浜市中区山下町)

- ・ 行 事 内 容 盛 田 勲 武(三菱倉庫㈱情報システム部長)
 「港湾倉庫と情報化」
 阿 部 節 彌(日本アイ・ビー・エム㈱営業推進担当次長)
 「物流における情報化の動向」
- ・ 参 加 人 数 100人
- 52. 情報化講演会
 - 主 催 助山梨21世紀産業開発機構
 - 後 援 山梨県、山梨県中小企業団体中央会、山梨県商工会連合会、山梨県商工会議所連合会、働山梨県中小企業振興公社、山梨県経営者協会、山梨県機械電子工業会
 - 開催日時 平成元年11月6日(月)
 - · 会場名·住所 平安閣(中巨摩郡昭和町)
 - 行事内容 水 谷 研 治(東海銀行常務取締役調査部長)「これからの日本経済の企業経営」
 - ・ 参 加 人 数 200人
 - 経 費 582,000円
- 53. 関東・甲信越・静ブロック技術・市場交流プラザ
 - 主 催 中小企業事業団

長野県

- 後 援 関東通商産業局、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、山梨県、静岡県、横浜市、川崎市、側全国中小企業融合化促進財団
- 協 賛 長野県商工会議所連合会、長野県中小企業団体中央会、長野県商工会 連合会 他
- · 開催日時 平成元年9月13日(水)~14日(木)
- 会場名・住所 上山田文化会館(更級郡上山田町)圓 山 荘(")
- ・ 行 事 内 容 基調講演(相 澤 進:セイコーエプソン㈱ 代表取締役専務) 特別講演(石 井 甫:㈱西武百貨店商品業務本部取締役) 交流パーティー 分科会・ 展示会 等
- · 参加人数 385人
- 経 費 145万円

54. 商店街の情報化を考える

- 主 催 長野商工会議所長野商店会連合会
- ・ 共 催 ㈱ニューメディア開発協会 長野市

- · 開催日時 平成元年10月6日(金) 13:30~15:30
- ・ 会場名・住所 長野商工会議所 会議室 (長野市七瀬中町)
- ・ 行 事 内 容 講演 テーマ:「商店街とPOS、カードの動向」

講 師: 脚流通システム開発センター

常務理事 浅 野 恭 右

- 参加人数 110人
- 経 費 29万円
- 55. 企業における情報化戦略、中小企業における情報化
 - ・ 主 催 脚長野県中小企業振興公社 御日本情報処理開発協会 長野県、長野県中小企業情報センター
 - 後 援 長野県商工会議所連合会、長野県中小企業団体中央会、長野県商工会 連合会、闕長野経済研究所、長野県中小企業後継者連絡会
 - 開催日時 平成元年10月18日(水)
 - 会場名・住所 八十二別館4階ホール (長野市岡田町)
 - · 行事内容 ·講演会

神 成 吉 彦(北関東花王販売㈱ 代表取締役社長) 「企業における情報化戦略」

・パネルディスカッション「中小企業における情報化」

パネリスト 武 田 芳 雄 (中小企業庁 情報化企画調整官)

平 松 茂 実(信州大学経済学部 教授)

福 沢 誠 () 誠 () 數長野経済研究所 専務理事)

古 畑 恒 孝 (㈱共立製作所 取締役社長)

コーティネーター 荒 井 和 雄 (長野経済開発研究所 所長)

- ・ 参 加 人 員 200名
- 経費約61万円

56. <経営と技術> 国際シンポジウム in TOYAMA '89

- 主 催 中小企業事業団、富山県、富山市、富山商工会議所、富山技術開発財 団、北日本新聞社
- 後 援 通商産業省、中小企業庁、富山県市長会、富山県町村会、富山県商工 会議所連合会、富山県商工会連合会 他
- 開催日時 平成元年10月5日(木)~6日(金)
- 会場名・住所 富山第一ホテル (富山市桜木町)
- · 行事内容 ·基調講演
 - ・パネルディスカッション
 - ・テーマ別セッション
 - ・海外投資環境プレゼンテーション

- · 参加人数 450人
- 経 費 5万円

57. (財富山県産業情報センター創立10年記念式典及び講演会

- ・ 主 催 脚富山県産業情報センター
- 開催日時 平成元年10月25日(水)
- · 会場名·住所 富山県民会館 特別会議室 (富山市新総曲輪)
- 行 事 内 容 ①10周年記念式典
 - ②記念講演会

講師:飯田経夫

演 題:「今後の日本経済について」

- ・ 参 加 人 数 200名
- 経費 177万円

58. 情報交流会

- ・ 主 催) 脚富山県産業情報センター
- 開催日時 平成元年12月7日(木)
- 会場名・住所 千里山荘(婦負郡婦中町)
- 行事内容
 1. 工場見学(富山富士通㈱)
 - 2. 講演会 演 題:「倒産事例にみる企業防衛のあり方」

講 師:㈱東京商工リサーチ富山支店長

- 3. 懇親会
- ・ 参 加 人 数 50名
- · 経 費 26万円

59. 組立自動化国際会議

- ・ 主 催 第10回組立自動化国際会議実行委員会 (制精密工学会 IFS
- ・ 後 援 石川県、金沢市
- ・ 協 賛 日本機械学会、自動化推進協会、計測自動制御学会、日本産業ロボット工業会、日本ロボット学会、日本工作機械工業会
- · 開催日時 平成元年10月23日(金)~25日(水)
- ・ 会場名・住所 金沢市文化ホール(金沢市高岡町) 金沢ニューグランドホテル(金沢市高岡町)
- 行事内容 ①地元産業界に対する国際特別講演会
 ②世界の先端的組立自動化技術等の発表(論文51編)
 ③討論会
- · 参加人数 1,000名
- 経 費 3,249万円

- 60. 本県における情報ネットワーク戦略 生き残りのための情報戦略
 - ・ 主 催 助福井県中小企業情報センター・ 助福井県中小企業産業大学校
 - 開催日時 平成元年10月25日(水)
 - · 会場名·住所 福井県中小企業産業大学校 (福井市下六条町)
 - 行事内容 末定 宏治(幽福井県酒ネットワーク理事長)

 「本県における情報ネットワーク戦略」
 佐々木 正(シャープ(㈱顧問)
 「生き残りのための情報戦略」
 - 参加人数 150名
 - 経 費 約 110万円
- 61. 中小企業情報化フォーラム '89

 - · 後 授 中小企業庁、日本商工会議所、中部通商産業局、全国中小企業団体中 央会、岐阜県、全国商工会連合会、岐阜市
 - 協 賛 岐阜県商工指導機関・団体等情報連絡協議会
 - · 開催日時 平成元年9月28日(木) 13:00 ~ 17:40

9月29日(金) 10:00 ~ 16:00

- ・ 会場名・住所 岐阜グランドホテル (岐阜市長良川畔)
- ・ 行 事 内 容 ・基調講演 「地域VANと中小企業」 -情報化社会における生き残りと発展策-

鈴 木 秀 郎 (㈱セイノー情報サービス 代表取締役社長)

- ・パネルディスカッション
- ・特別講演 「90年代世界経済の行方と日本」 - 繁栄を続ける日本経済の内憂・外患-

小 谷 研 治 (㈱東海銀行 常務取締役調査部長)

- ・全国中小企業事例発表会 -我が社の情報、コンピュータ活用-
- 併 設 個別相談・指導コーナー、OA機器及びソフトウェア展示・実演コーナー、VTR放映コーナー、SMIRS等展示・実演コーナー
- 参加人数 923人
- 62. 商工会議所情報化シンポジウム
 - 主 催 日本商工会議所岐阜商工会議所

- 後 援 通商産業省、岐阜県、岐阜市、岐阜県商工会議所連合会
- · 開催日時 平成元年10月13日(金) 10:00 ~ 17:30
- 会場名・住所 長良川ホテル (岐阜市長良志段字東山)
- ・ 行 事 内 容 基調講演 デーマ「豊かな情報化社会の創造をめざして」 NTTデータ通信㈱ 代表取締役社長

藤田史郎

昼 食(パソコン通信等のデモンストレーションを実施)

事例発表 テーマ「情報化を成功させる要因」

静岡県立大学 教授 山 崎 充 デーマ「製造業における情報処理」

東海理研(株) 代表取締役社長 山 田 由 博 休 憩 (パソコン通信等のデモンストレーションを実施)

パネルディスカッションデーマ「豊かな情報化社会の創造をめざして」

- 情報化社会は生活をどう変えるか-

 $\langle J-f_1\lambda-g_-\rangle$ N I + C $\langle J-f_1\lambda-g_-\rangle$

代表取締役社長 中 山 隆 夫

<パネラー> 五十音順

(株セイノ-情報サービス社長 鈴木秀郎

岐阜流通センター㈱ 連合会会長 辻 正

中部コンピュータ㈱ 会長

仙台商工会議所常務理事 津 嶋 秋 夫

日本航空㈱国際旅客事業総本部 西 田 直

営業本部アクセスセンター課長

㈱電算システム 社長 宮地正直

静岡県立大学 教授 山 崎 充

- 参加人数 240人
- 経 費 535万円
- 63. 中小企業における情報化の進め方と事例紹介

(女性が語るコンピュータ)

- 主 催 岐阜県中小企業団体中央会
- 開催日時 平成元年10月3日(火)
- 会場名・住所 長良川ホテル(岐阜市長良川畔)
- ・ 行 事 内 容 中小企業の情報化推進の第一線で活躍中の女性SE4人によるパネルディスカッションを行なう。コーディネーターは、側流通システム開発センター 関川主任研究員とし、パネラーとして富士通㈱店舗システム部、日本電気㈱、OA販売システム部、地元㈱電算システムOAシステム部から、それぞれの現場指導における問題点及び事例紹介を行い、中小企業の情報化促進の参考資料を提供した。
- 参加人数 100名
- 経費30万円
- 64. 21世紀情報化フォーラム IN しずおか
 - 主 催 静岡商工会議所 関東通商産業局、静岡県、静岡市、
 - ・ 後 援 脚ニューメディア開発協会、脚広域関東圏産業活性化センター、御情報サービス産業協会、御静岡県商工会議所連合会、静岡県商工会連合

会、側静岡県中小企業振興公社、静岡県中小企業団体中央会、静岡県ソフトウェア事業(幽、NTT静岡支社、静岡特産工業協会、) 励横浜・神奈川県総合情報センター、朝日新聞社静岡支局、読売新聞社静岡支局、毎日新聞社静岡支局、日本経済新聞社静岡支局、産経新聞社静岡支局、東京新聞社静岡総局、中日新聞社東海本社、中部経済新聞社静岡支局、静岡新聞社、日刊工業新聞社静岡支局、日本工業新聞社静岡支局、NHK静岡放送局、静岡放送、テレビ静岡、静岡第一テレビ、けんみんテレビ

- ・ 協 賛 キャノン販売㈱、静岡銀行㈱、静菱コンピュータ㈱、㈱東芝、日本電 気㈱、㈱日立製作所、富士通㈱、㈱メイテック、三井情報開発㈱、日 経総合販売㈱
- 開催日時 平成元年11月10日(金)
- 会場名・住所 静岡商工会議所会館(静岡市黒金町)
- ・ 行 事 内 容 (1)セミナー 「明日のカギを握る知的財産権の課題」 「情報化をバネに世界にはばたく」

(2)講演 「21世紀へのニューバリュー」

(3)ハネルティスカッション 「新しいビジネスチャンスの開拓」

(4)情報メディア展(各種ニューメディア機器の展示と実演)

(5)ワープロ教室 (ワーフロ入門から実践まで実際に操作しながら学習)

- ・ 参 加 人 数 1,200名(延べ)
- ・経費400万円
- 65. ニューオフィスセミナー静岡
 - 主 催 静岡商工会議所

- ・ 後 援 御ニューオフィス推進協議会、静岡県、静岡市、静岡事務機器販売事 業協同組合
- ・ 協 賛 (株)イトーキ、(株)岡村製作所、静岡リコー、大成建設(株)、日本電気(株)、富士ゼロックス(株)、富士通(株)
- · 開催日時 平成元年10月24日(火)
- · 会場名·住所 静岡商工会議所会館(静岡市黒金町)
- · 参加人数 250名
- 経 費 35万円
- 66. 行政管理セミナー
 - 主 催 総務庁 中部管区行政監察局
 - · 開催日時 平成元年10月26日(木)~ 27日(金)
 - 会場名・住所 名古屋合同庁舎第2号館 会議室 (名古屋市)

行 事 内 容

講演	 名	講師名
"お役所仕事"おや!	まあ!	中日新聞論説主幹
あらっ!		小柳津 健
情報化における地方	行政の	名古屋私立大学経済学部教授
在り方		牛 嶋 正
変動期の経営		名古屋私立大学経済学部教授
		ムルコヤ・トハソー
最近の電気通信事情	-	N T T 東海支社 東海営業本部副本部長 井上一彦
市民参加と行政の在り方		愛知県立大学学長
		横越英一

- 参加人数 120名
- 経 費 約 25万円

67. 科学技術情報流通技術基準普及説明会

- ・ 主 催 科学技術庁科学技術振興局 日本科学技術情報センター
- · 開催日時 平成元年9月22日(金) 10:00 ~ 17:00
- 会場名・住所 KKR名古屋三の丸 (名古屋市中区三の丸)
- ・ 行 事 内 容 科学技術庁では、科学技術情報の標準化を促進するため、科学技術情報の標準化を促進するため、科学技術情報が選集を開発している。この基準、基準案の普及のため、学協会、研究者、情報管理担当者を対象に説明会を行った。
- · 参加人数 128名

· 経 費 53万円

68. コンピュータ応用事例研究発表会

(中部地域公設試験研究指導機関)

- ・ 主 催 コンピュータ応用技術協会
- ・後 授 中部通商産業局、名古屋工業技術試験所、富山県工業技術センター、 石川県工業試験場、長野県精密工業試験場、長野県情報技術試験場、 岐阜県工業技術センター、三重県工業技術センター、愛知県工業技術 センター、名古屋市工業研究所、御情報処理学会中部支部、脚中部科 学技術センター
- · 開催日時 平成元年10月17日(火) 9:30 ~ 16:30
- 会場名・住所 名古屋市民会館 第1会議室 (名古屋市中区金山)
- ・ 行 事 内 容 ①半導体レーザによる小型距離測定システム 愛知県工業技術センター機械電子部 松 生 秀 正
 - ②コンピュータ画像解析による織物欠点検出システム 三重県工業技術センター繊維部 西松豊典
 - ③ハイブリッド I C回路パターンの欠陥検出装置 石川県工業試験場機械電子部 中 野 幸 一
 - ④ I G E S データによる質感表現シミュレーション 岐阜県工業技術センター技術振興部 稲 葉 昭 夫
 - ⑤フレームによるフットワークの知識表現システム 名古屋市工業研究所電子部 河 合 勝 司
 - 招待講演 マイクロマシニングとメカニカルセンサ 講師 ㈱豊田中央研究所研究第三部半導体・IC研究室 杉 山 進
 - ⑥マイクロコンピュータによるプラスチック歯車用かみあい試験機 富山県工業技術センター中央研究所 中 川 章
 - ⑦FMSシミュレータによるレイアウト設計 長野県精密工業試験場加工部 小 口 京 吾
 - ⑧簡易な大気データ収集システム 長野県情報技術試験場情報企画部 橋 本 昌 巳
- · 参加人数 26名

- 経 費 60万円
- 69. 東海・北陸ブロック 技術・市場交流プラザ
 - 主 催 中小企業事業団名古屋市
 - 後 按 中部通商産業局、愛知県、三重県、岐阜県、富山県、石川県、働全国 中小企業融合化促進財団
 - 開催日時 平成元年10月11日(水)~12日(木)
 - ・ 会場名・住所 ホテルキャッスルプラザ(名古屋市)
 - 行事内容 基調講演(民秋史也:㈱モルテン代表取締役)
 分科会
 交流パーティー
 展示会
 - ・ 参 加 人 数 287名
 - 経費 145万円
- 70. 情報を活かす街づくり コンピュータ機器展示会 併催

 - 後 援 瀬戸市

- ・ 開催日時 平成元年10月20日(金) 10:00 ~ 11:00 (展示会:9:00~16:00)
- 会場名・住所 瀬戸市役所 会議室 (瀬戸市追分町)
- · 行事内容 ·講演会 近藤成二郎

(日本ユニシス㈱中部支社 ソフトウェア技術部長) 「情報を活かす街づくり

- コンピュータ利用技術の現状と今後の動向-」

- ・展示会 パーソナルコンピュータ展示実演、CAIシステムの展示実演、コンピュータグラフィックス、ビデオテックスシステム 他
- 参加人数 150名
- 経 費 約 65万円

71. 高度情報化女性セミナー

- · 主 催 三重県高度情報化推進協議会
- 協 賛 名張市
- · 開催日時 平成元年10月20日(金)
- 会場名・住所 名張シティホテル (名張市丸ノ内)
- · 行 事 内 容 基 調 講 演 音 田 昌 子 (読売新聞社編集局婦人部次長)

「暮らし いきいき わくわく」 パネルティスカッション 大 手 美 知 恵 (東海ラジオアナウンサー) 外 2 名 「自分流情報コミュニケーション」

- · 参加人数 150名
- 経 費 約 45万円
- 72. 近畿ブロック 技術・市場交流プラザ
 - 主 催 中小企業事業団滋賀県
 - · 後 援 近畿通商産業局、福井県、奈良県、京都府、大阪府、兵庫県、和歌山 県、京都市、大阪市、神戸市、)助全国中小企業融合化促進財団 他
 - 開催日時 平成元年10月20日(金)
 - 会場名・住所 琵琶湖ホテル(大津市)
 - 行事内容 基調講演(森谷正規 技術評論家)
 分科会
 交流パーティー
 展示会 等
 - 参加人数 343名
 - · 経 費 145万円

73. 情報社会を生きる……これからの丹後

- ・ 主 催 (社)システム科学研究所・ 財丹後地域地場産業振興センター京都高度情報化推進協議会
- 後 援 近畿通商産業局、京都府
- 開催日時 平成元年10月7日(土)~8日(日)
- 会場名・住所 アミティ丹後 (竹野郡網野町)
- 行事内容 講演会 小松左京「これからの丹後」
 植田雅晴「ハイビジョンの仕組みと活用」
 展示 ハイビジョン パソコン、ワープロ等
- 参加人数 500名
- 経 費 約 232万円

74. 行政管理セミナー

- 主 催 総務庁 近畿管区行政監察局
- 開催日時 平成元年11月9日(木)~10日(金)
- 会場名・住所 公立学校共済組合「なにわ会館」 (大阪市)

· 行事内容

		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
ā冉.	演 名	講 師 名		
国と地方の制度	改革について	関西経済連合会企画調査部長		
~経済界から	の提言を中心に~	小島勝利		
都市再開発への		大阪大学工学部 助教授		
~大阪を中心	として~	鳴海邦碩		
先端技術開発の	現状と課題	大阪大学工学部 教授		
~技術革新と	社会生活~	荻 野 和 己		
ジャーナリスト	からの行政への提言	朝日新聞社大阪本社 論説副主幹 田 中 豊 蔵		
114年近年14月2	よの人面し字板	同志社大学法学部 教授		
地域石性化のた	比のための企画と実施	君 村 昌		
組織の活性化方	策	㈱大丸 常務取締役		
~燃える集団	づくり~	秋沢三夫		

- · 参加人数 120名
- 経費約50万円

75. 医療におけるパソコン通信シンポジウム

- ・ 主 催 脚医療情報システム開発センターメディカル・マイクロコンピュータ・クラブ日本医療情報学会パソコン通信研究会
- · 開催日時 平成元年10月28日(土) 13:30 ~ 16:30
- 会場名・住所 大阪科学技術センター (大阪市西区靱本町)

- 参加人数 100名
- 経 費 50万円

76. ハイグレード製品開発と生産システムの高度化をめざして

- ・ 主 催 脚大阪科学技術センター
- ・ 後 援 通商産業省、大阪商工会議所、(組)大阪工業会、大阪府中小企業団体中 央会、大阪府機械金属協会、(制関西情報センター、(組関西電子工業振 興センター、システム制御情報学会
- 協 賛 ㈱大塚商会、キャダムシステム㈱、久保田鉄工㈱、㈱ケー・エス・エス、㈱コムシステム、シャープ㈱、セイコー電子工業㈱、立石電機㈱、 ㈱東芝、日本ユニシス㈱、㈱日立製作所、丸紅ハイテック㈱、三菱電機㈱、武藤工業㈱
- · 開催日時 平成元年10月18日(水)~ 20日(金)
- ・ 会場名・住所 大阪科学技術センター (大阪市西区靱本町)
- 参加人数 延1,590名
- · 経 費 約 230万円
- 77. 明日の先端技術を担う高機能高収益材料をいかに生み出すか
 - ----その創造的発想と革新的手法
 - 主 催 \(\mathbf{k}\) 大阪工研協会
 - · 後 援 大阪市工業研究所

- 協 賛 日本化学会近畿支部、街近畿化学協会、有機合成化学協会関西支部
- 開催日時 平成元年10月24日(火)~ 25日(水)
- 会場名・住所 大阪市立工業研究所 大講堂 (大阪市城東区森之宮)
- ・ 行 事 内 容 水 野 卓 巳(大阪市立工業研究所研究員)

 「イオウ ― 一酸化炭素系によるファインケミカルズの新合成反応」

 吉 田 善 一(京都大学名誉教授)

 「これからの先端機能材料」
 など2日間で10テーマの講演。
- 参加人数 50名
- 経 費 約 120万円
- 78. コンピュータワールド '89

 - 後 援 通商産業省

 - 開催日時 平成元年9月27日(水)~29日(金)

- ・ 会場名・住所 大阪国際交流センター (大阪市天王寺区上本町)
- ・ 行事内容 AI技術の産業への利用促進を目的とした国際シンポジウムと展示会。 本年度はマルチメディアとヒューマンインタフェースをテーマに開催。

(1)シンポジウム 講演 3件(内 海外1件) 発表 33件(内 海外11件)

(2)展示会

18社31小間

参 加 者 数 (1)シンポジウム 430名

(2)展示会 1,647名

- 経 費 4,023万円
- 79. | B | S 第2次運用実験開始記念式及び講演会
 - 基盤情報システム開発㈱ · 主 催 大阪市 船場卸情報化推進協議会
 - 平成元年10月17日(火) 14:00 ~ 17:00 開催日時
 - 会場名・住所 大阪商工会議所 (大阪市中央区本町橋)
 - · 行 事 内 容 ①講演会 「情報化は今が勝負」 鐘紡繊維美術館 館長 佐野 正男 ②第2次運用開始記念式 稼働端末 250台
 - 参加人数 講演会 110名 記念式 50名

・ 経 費 約 20万円

80. SEMINAR WEEK'89 OSAKA

- ・ 主 催 は情報サービス産業協会
- 共 催 哪日本情報処理開発協会 中央情報教育研究所
- · 開催日時 平成元年10月18日(水)~20日(金) 9:30~16:30
- 会場名・住所 (助大阪科学技術センター (大阪市西区)
- ・ 行 事 内 容 3日間にわたり、技術研修セミナー6講座を開催した。
- · 参加人数 410名(3日間計)
- · 経 費 約 500万円

81. OA賞受賞記念講演会

- ・ 主 催 俎日本オフィスオートメーション協会
- · 開催日時 平成元年10月19日(木)~20日(金) 9:10~17:20
- ・ 会場名・住所 ホテル阪神 (大阪市北区梅田)
- ・ 行 事 内 容 OA化実践に優れた成果を挙げ、平成元年度にOA賞を受賞した企業 より、実戦的なOA化事例を学ぶ。

- 参加人数 110名
- · 経 費 約 180万円

82. A I 応用事例紹介

- 一A I 利用で変わる各技術分野の現状―
- · 主 催 闭日本技術士会近畿支部 近畿情報処理技術士会
- ・ 協 賛 御日本技術士会近畿支部 CAD/CAMシステム研究会
- · 開催日時 平成元年10月28日(土) 13:00 ~ 17:00
- 会場名・住所 大阪科学技術センター (大阪市西区靱本町)
- ・ 行 事 内 容 A I (エキスパートシステム)の実務経験に基づいた、A I 適用化の 手順説明、並びに、①農業、②土木・建設、③設計・生産の各分野に おける事例紹介を行った。
- · 参加人数 80名
- 経 費 80万円

83. 電子工業技術大会

- 主 催 俎日本電子機械工業会
- · 開催日時 平成元年10月19日(木)~ 21日(土)

- ・ 会場名・住所 インテックス大阪センタービル (大阪市住之江区南港北)
- ・ 行 事 内 容 大会テーマ 「エレクトロニクス技術の展望と国際化」 特別講演 堀 内 司 朗(松下電器産業㈱ 取締役) 「超LSI技術の展望」

他 8つのセッション

- 参加人数 1,368名
- 経 費 800万円

84. 実務者のための特許情報説明会

- 主 催 助日本特許情報機構
- 協 力 紐発明協会 大阪支部
- 開催日時 平成元年10月3日(火)
- 会場名・住所 大阪科学技術情報センター (大阪市西区靱本町)
- ・ 行 事 内 容 講演会:特許出願手続きの電子化について講演を行なうとともに、当 財団の電子出願端末システムの開発状況、将来展望について 説明。

実演会:CD-ROMによる特許情報の利用及び電子出願端末システムの実演。

· 参加人数 151名

- · 経 費 約 131万円
- 85. パソコン講座
 - 主 催 出雲商工会議所
 - · 開催日時 平成元年9月19日(火)~11月21日(火) 18:00~20:00
 - 会場名・住所 出雲市西高等学校 (出雲市下古志町)
 - ・ 行 事 内 容 BASIC言語による実務的な事務処理に必要なプログラミングの基 遊講座。
 - · 参加人数 30人
 - · 経 費 120万円
- 86. コンピュータ実務研修
 - ・ 主 催 大田商工会議所 大田市 NTT石見大田支店 大田地区電信電話ユーザ協会
 - 開催日時 平成元年10月22日(日)
 - ・ 会場名・住所 島根県中央地域職業訓練センター
 - ・ 行 事 内 容 パソコン通信の実務

- · 参加人員 60人
- 経 費 10万円
- 87. 情報を戦略としてどう活用するか 中小企業情報システムの活用について
 - ・ 主 催 関島根県中小企業振興公社中小企業情報センター (助日本情報処理開発協会
 - 後 援 中国通商産業局、島根県
 - 協 賛 中小企業事業団
 - · 開催日時 平成元年10月5日(木) 13:30 ~ 17:00
 - ・ 会場名・住所 ホテル宍道湖(松江市西嫁島町)
 - ・ 行 事 内 容 長 谷 川 肇(経営評論家) 「情報を戦略としてどう活用するか」

黒 沢 好 通(中小企業事業団情報調査部情報サービス課長) 「中小企業情報システムの活用について」

(中小企業事業団データベース"スマイルス") のオンライン情報検索実演を併せ実施

- 参加人数 95名
- 経費約81万円

88. パソコン教室

- · 主 催 宍道町商工会
- · 開催日時 平成元年10月6日(金)~31日(火)
- · 会場名·住所 宍道町商工会館 婦人部研修室 (八束郡宍道町)
- ・ 行 事 内 容 下記の4コースを併設し、各々7日間、各21時間づつ指導(計84時間)
 - ①パソコン経理教室(経理)
 - ②ロータス1-2-3コース(表集計)
 - ③ The CARD 3コース (データベース)
 - ④一太郎コース (ワープロ)
- · 参加人数 24名
- 経 費 約 10万円

89. あふれる情報、その生かし方

- ・ 主 催 脚中国地域技術振興センター 大田市 大田商工会議所
- ・ 後 援 脚ニューメディア開発協会
- ・ 開催日時 平成元年10月21日(土) 13:00 ~ 15:00
- 会場名・住所 島根県中央地域職業訓練センター (大田市大田町)

- ・ 行 事 内 容 田 中 康 夫 (大阪市立大学工学部助手) 「あふれる情報、その生かし方 一ここまできた地域の情報化」
- · 参加人数 95人
- · 経 費 10万円

90. 児島地域情報化推進講演会

- ・ 主 催 () 脚岡山県中小企業研修情報センター(助中国地域技術振興センター
- ・ 後 援 児島商工会議所
- · 開催日時 平成元年10月23日(月) 13:00 ~ 16:00
- 会場名・住所 児島商工会議所 大会議室 (倉敷市児島味野)
- 行 事 内 容 吉 田 寛(流通科学大学流通学科 教授)

主 題 児島地域情報化の基盤造りのために

副 題 地域情報化の考え方と取組みの方法について

岡山ネットワーク通信システム、 テモンストレーション

- ・ 参 加 人 数 70名
- · 経 費 約 22万円

91. 金属系新素材の開発の現況と試験評価

• 主 催 知山陽技術振興会

倉敷商工会議所 岡山県新技術振興財団

- 開催日時 平成元年10月11日(水) 13:30~16:30
- · 会場名·住所 倉敷商工会議所 会議室(倉敷市白楽町)
- ・ 行 事 内 容 古河電気工業㈱研究開発本部 根岸技師長をお招きし、「金属系新素 材の開発の現況と試験評価」について、工業技術院材料規格課で昨年 1年間にわたりあらゆる角度から検討された概要を、その検討メンバ ーの1人である根岸技師長より伺った。
- 参加人数 60名
- · 経 費 約 30万円
- 92. 中国ブロック技術・市場交流プラザ
 - 主 催 中小企業事業団広島県
 - 後 按 中国通商産業局、鳥取県、島根県、岡山県、山口県、広島県、働全国 中小企業融合化促進財団
 - 開催日時 平成元年9月21日(木)~22日(金)
 - ・ 会場名・住所 広島県情報プラザ (広島市)
 - 行 事 内 容 基調講演 嶋 本 久 寿 弥 太 () 明日本科学振興財団 理事 嶋本国際特許事務所 所長

分科会

交流パーティー

展示会 他

- 参加人数 321名
- 経 費 145万円

93. これからの情報技術

- ・ 主 催 脚中国地域技術振興センター組広島県情報産業協会
- ・ 後 援 脚ニューメディア開発協会
- · 協 賛 広島県、広島市、広島商工会議所
- · 開催日時 平成元年10月27日(金) 10:00 ~ 12:00
- 会場名・住所 広島県情報プラザ (広島市中区千田町)
- ・ 行 事 内 容 渕 ー 博(ICOT研究所 所長)
 「これからの情報技術と新世代コンピュータ」
- · 参加人数 95人
- · 経 費 8万円

94. 情報活用で積極経営

- ・ 主 催 脚中国地域技術振興センター 広島商工会議所
- 後 援 (助ニューメディア開発協会

- 開催日時 平成元年11月1日(水) 13:30 ~ 16:00
- · 会場名·住所 広島商工会議所 (広島市中区基町)
- ・ 行 事 内 容 沼 本 康 明 (日本電気㈱第 2 流通サービスシステム事業部 業務部長代理) 「情報活用で積極経営-POS. VANカードビジネスの最新動向」
- 参加人数 55人
- 経 費 10万円

95. パソコン講習会

- ・ 主 催 脚広島県産業技術振興機構 広島県産業情報センター
- · 開催日時 平成元年10月18日(水) 10:00 ~ 16:00
- 会場名・住所 広島県情報プラザ 特別会議室 (広島市中区千田町)
- ・ 業 務 内 容 これからパソコンを導入する企業の経営者、管理者向けに行った。
 - 1. パソコンがいかに便利で、簡単に使えるかをOHP教材で解説
 - 2. マシン実習(売り上げ管理のシュミレーション、顧客・売り上げ 管理の活用等)
- ・ 参 加 人 数 11名
- 経 費 約4万円

96. 新規事業開発・多角経営計画のすすめ方

- ・ 後 押国通商産業局、広島県、広島県商工会議所、広島県中小企業団体中央会、広島県商工会連合会、脚日本テクノマート広島支部
- 開催日時 平成元年10月17日(火) 13:15~17:00
- 会場名・住所 八丁堀シャンテ (広島市中区八丁堀)
- ・ 行 事 内 容 基調講演 講 師 石 見 潔(㈱リミオン 代表取締役) テーマ 「ユーザーニーズと発想」

パネルディスカッション

パネラー 迫 田 勲(大東通商㈱ 取締役)

兼 安 俊 介(日本たばこ産業㈱広島工場専任調査役)

山 本 潔(日本電信電話㈱中国支社経営管理部長)

印 藤 哲 夫 (マツダ㈱第一事業開発室課長)

コーディネーター 大 矢 嘉 雄 (㈱日刊工業新聞社中国支社編集部長) テーマ 「我が社の新規事業開発の対応」

- · 参加人数 102名
- 経費約36万円

97. これからの情報技術

・ 主 催 シンポジウム広島 '89「これからの情報技術」実行委員会 (広島県、広島商工会議所、㈱中国地域産業活性化センター、㈱中国 地域技術振興センター、㈱広島県産業技術振興機構、㈱広島県情報産 業協会)

- ・ 後 授 中国通商産業局、NTT中国、他広島県産業振興公社
- · 開催日時 平成元年10月27日(金) 10:00 ~ 19:00
- 会場名・住所 広島県情報プラザ (広島市中区千田町)
- 行事内容 講演 「これからの情報技術と新世代コンピュータ」
 「カーエレクトロニクスの技術動向」
 「ロボットハンドと義手」
 「マルチメディア通信の動向」
 「Σプロジェクトと情報技術」
 パネルディスカッション

「Σをどう活用するか」

- 参加人数 876人
- · 経 費 1,600千円

98. 中小企業経営のための経営戦略セミナー

- ・ 主 催 中小企業事業団中小企業研究所・ 助山口県産業技術開発機構山口県商工情報センター
- 開催日時 平成元年10月26日(木)
- ・ 会場名・住所 山口県グランドホテル (吉敷郡小郡町黄金)
- ・ 行 事 内 容 講演会 中小企業の市場開発の進め方

中小企業と情報ネットワーク

- · 参加人数 46人
- 経 費 中小企業事業団の金額負担

99. 経営者能力開発講座

- ・ 主 催 助山口県産業技術開発機構・ 財周南地域地場産業振興センター
- · 開 催 日 時 平成元年10月13日(金) 13:00 ~ 15:00
- 会場名・住所 (脚周南地域地場産業振興センター (徳山市大字粟屋)
- 行 事 内 容 講演会

テーマ 「新製品・新技術開発の具体的事例」 講 師 長崎先端機器開発協同組合 理事長 黒 川 道 夫

- ・ 参 加 人 数 18名
- · 経 費 約 15万円

100. ニューメディア講習会

- · 主 催 山口県商工会連合会
- 開催日時 平成元年9月11日(金)、14日(木)
- · 会場名·住所 山口県美弥市商工会会議室

(秋穂町公民館)

- ・ 行 事 内 容 パソコン通信入門(基礎理論と実演)
 - · 参加人員 35人
 - ・ 経 費 約3万円(資料代のみ)

101. 企業における研究の位置づけ:今、何がトレンディなのか

- ・ 主 催 山口大学工学部 山口大学工学部創立50周年記念事業会
- 共 催 哪山口県産業技術開発機構
- 協 賛 山口県、山口県教育委員会、宇部市、山口県経営者協会、山口県商工。会議所連合会、常磐工業会
- · 開催日時 平成元年11月2日(木) 13:30 ~ 17:00
- ・ 会場名・住所 山口グランドホテル (吉敷郡小郡町)
- · 行 事 内 容 講演会(講演題目、講演者)
 - 1. 民間と大学の協力について 文部省学術国際局研究助成課研究協力室長 六 車 正 章
 - 2. 企業における研究の役割宇部興産㈱常務取締役研究開発本部長 梅 村 純 郎
 - 3. 企業における基礎研究のあり方IBMチューリッヒ研究所 H. Rohrer 博士

- · 参加人数 150名
- · 経 費 60万円

102. 市民講演会

(山口大学工学部創立50周年記念)

- ・ 主 催 山口大学工学部 山口大学工学部創立50周年記念事業会
- 共 催 宇部市
- 協 賛 山口県、山口県教育委員会、㈱山口県産業技術開発機構、宇部市教育 委員会、山口県経営者協会、山口県商工会議所連合会、宇部商工会議 所、常磐工業会
- · 開催日時 平成元年11月3日(金) 16:00~18:00
- · 会場名·住所 宇部市文化会館 (宇部市朝日町)
- · 行 事 内 容 講演会
 - 1. 「ミクロに"もの"をみる ローラー博士の紹介をかねて-」 山口大学工学部教授 末 岡 修
 - 「独創性のある人を育てるには -子供の環境-」
 IBMチューリッヒ研究所 H. Rohrer博士
- 参加人数 500名
- · 経 費 38万円

103. 特別記念講習会

(山口大学工学部創立50周年記念)

- ・ 主 催 山口大学工学部 山口大学工学部創立50周年記念事業会
- 共 催 脚山口県産業技術開発機構 宇部市
- 協 賛 山口県、山口県教育委員会、宇部市教育委員会、山口県経営者協会、 山口県商工会議所連合会、宇部商工会議所、常磐工業会
- · 開催日時 平成元年11月4日(土) 14:30 ~ 16:00
- · 会場名·住所 宇部渡辺翁記念会館 (宇部市朝日町)
- 行事内容 講演会 演題 「日本の先端技術と将来」講師 東北大学教授 西澤 潤 一
- ・ 参 加 人 数 1,500名
- · 経 費 70万円

104. 情報戦略化としてのPOSシステムの構築

- ・ 主 催 徳島県、徳島県中小企業情報センター、徳島県中小企業団体中央会、徳島県企業経営研究会
- ・ 開催日時 平成元年11月6日(月)~16日(木) 10:00 ~ 17:00

- 会場名・住所 眉山会館(徳島市住吉)
- ・ 行 事 内 容 11月6日(月) 成功するPOSシステムの導入法 小林 勇治(㈱エム・シー・ジー代表取締役)
 - 11月7日(火) POSシステムの仕組みと機器 小林 勇治 (㈱エム・シー・ジー代表取締役)
 - 11月8日(水) 小売・卸売業の情報化の現状と動向 吉岡 洋一(㈱流通システム総合センター代表取締役)
 - ・ 11月13日(月) POS実習 小林 勇治(㈱エム・シー・ジー代表取締役)
 - 11月14日(火) 顧客管理システム 小林 勇治(㈱エム・シー・ジー代表取締役)
 - 11月16日(木) 情報武装化で環境変化への対応を 山中 義昭(㈱エム・ワイ・エフ研究所代表取締役)
- · 参加人数 21名
- · 経 費 112万円
- 105. 四国ブロック技術・市場交流プラザ
 - 主 催 中小企業事業団香川県
 - 後 選 四国通商産業局、徳島県、愛媛県、高知県、脚全国中小企業融合化促進財団
 - 開催日時 平成元年10月24日(火)~25日(水)
 - · 会場名·住所 香川厚生年金会館(高松市)

- ・ 行 事 内 容 基調講演(山 崎 充 : 静岡県立大学 教授) 分科会 交流パーティー
- 参加人数 150名
- 経 費 145万円

106. 情報化講演会

- ・ 主 催 助愛媛県中小企業情報センター 八幡浜商工会議所
- · 開催日時 平成元年10月6日(金) 13:30 ~ 15:30
- 会場名・住所 八幡浜商工会議所 大ホール (八幡浜市田中町)
- ・ 行 事 内 容 佐 藤 良 明 (中小企業事業団 中小企業 O A システムセンター) 登録 O A システム指導員 「情報化の現状と経営戦略」
- ・ 参 加 人 数 31名
- · 経 費 約 12万円
- 107. 21世紀への道 高度情報化と地域社会 全国的な技術情報システム等の活用 各情報システムのオンライン情報検索
 - ・ 主 催 (財)四国産業・技術振興センター (財)日本情報処理開発協会

- 後 援 四国通商産業局、愛媛県、四国経済連合会、四国生産性本部
- · 開催日時 平成元年10月5日(木) 10:20 ~ 17:00
- ・ 会場名・住所 松山市総合コミュニティセンター 大会議室 (松山市湊町)
- 行事内容 関本 忠 弘(日本電気㈱ 社長)
 「21世紀への道 -高度情報化と地域社会-」
 横谷 直 樹(中小企業事業団 情報調査部調査役)
 古川 靖(㈱日本特許情報機構サービス部管理課長)
 市野瀬定正(㈱日本科学技術情報センター四国支所長)
 「全国的な技術情報システム等(SMIRS、PATOLIS、JOIS)の

活用講演とオンライン情報検索の公開実習」

- 参加人数 346名
- 経費約70万円

108. 荷主物流セミナー

- ・ 主 催 知長崎県トラック協会・ 対全日本トラック協会
- 後 援 九州運輸局長崎陸運支局
- · 開催日時 平成元年10月24日(火) 14:00 ~ 16:30
- 会場名・住所 長崎厚生年金会館 (長崎市茂里町)

- ・ 行 事 内 容 日通総研 森田 稔専務 「21世紀を睨んだ物流戦略」
- · 参 加 人 数 荷主企業側 50名 事業者側 50名
- 経 費 120万円

109. 九州・沖縄ブロック 技術・市場交流プラザ

- ・ 主 催 中小企業事業団大分県
- 後 援 九州通商産業局、沖縄総合事務局、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、 宮崎県、鹿児島県、沖縄県、北九州市、福岡市、大分市、側全国中小 企業融合化促進財団
- · 開催日時 平成元年11月30日(木)~12月1日(金)
- ・ 会場名・住所 トキハ会館(大分市) 小田急センチュリー大分(大分市)
- 行事内容 講演会 講演者:平松 守 彦(大分県知事)
 山川 烈(九州工業大学教授)
 分科会
 交流パーティー
- · 参加人数 404名
- · 経 費 145万円

110. かごしまソフトウェアセミナー

- 後 援 九州通商産業局、鹿児島県、鹿児島県市長会、鹿児島県町村会、鹿児島県ニューメディアモデル地域施策推進連絡会、鹿児島県商工会議所連合会
- · 開催日時 平成元年10月26日(木) 10:00 ~ 17:00
- · 会場名·住所 城山会館(鹿児島市城山町)
- · 行事内容 (1)講演
 - ・演 題 「21世紀の情報化社会のビジョンと課題」
 - ・講師 ㈱アスキー代表取締役社長 西 和 彦
 - (2)ミニ・シンポジウム
 - ・テーマ 「21世紀の情報化社会を展望して 来るべき高度情報 化社会に向けて、いま何をすべきか?-」
 - 司会・パネラー

司会 (㈱南日本情報処理センター 代表取締役社長

小 川 隆 介

パキラー ㈱アスキー 代表取締役社長 西 和 彦

通商産業省機械情報産業局

情報処理振興課総括班長 澤 昭 裕

東京大学名誉教授

佐藤泰夫

NTT九州支社地域情報化推進部長 坂 井 敬 明

(3) Σ システム・デモ展示コーナー

内 容 Σ システムワークステーションの実演及び Σ システム に関するパネル、資料の展示配布。

(4)(社) 鹿児島県 ソフトウェア振興協会会員紹介コーナー

内 容 協会活動の紹介と、正会員及び賛助会員のプロフィー

ル並びに営業活動を紹介したパネルの展示、パンフレットの配布。

- 参加人数 220名
- · 経 費 約 102万円

111. 中小企業セミナー

- 主 催 中小企業事業団
- · 協 賛 九州通商産業局、鹿児島県
- · 開催日時 平成元年10月19日(木)~ 20日(金)
- 会場名・住所 城山観光ホテル (鹿児島市新照院町)
- 参加人数 500名

112. 沖縄地区行政管理セミナー

- 主 催 総務庁沖縄行政監察事務所
- · 開催日時 平成元年11月21日(火)~ 22日(水)
- 会場名・住所 自治会館大ホール (那覇市)

行事 内容

the state of the s	
講 演 名	講師名
高度情報化社会における行政	(株)ビジネスランド
サービスについて	代表取締役 渕 辺 美 紀
情報化社会と行政	総務庁行政管理局 行政情報システム参事官
-個人情報保護法を中心に-	和葉清毅
今日の世界と日本	琉球石油㈱ 代表取締役社長 稲 嶺 恵 一

- 参加人数 110名
- 経費約40万円

113. 今後の情報化社会と地域活性化

- · 主 催 沖縄県商工会議所連合会 脚日本情報処理開発協会
- 後 援 沖縄開発庁総合事務局、沖縄県、那覇市、脚地域産業技術振興協会
- ・ 協 賛 (株OCC、日本アイ・ビー・エム(株)、日本電気(株)、(株) ウコム、富士 通(株)、沖縄情報通信(株)、琉球石油(株)
- · 開催日時 平成元年10月27日(金) 14:00 ~ 17:00
- 会場名・住所 那覇商工会議所ホール (那覇市久米)
- 行事内容 松本良樹(日本電気㈱C&Cパブリックシステム推進本部技師長)「今後の情報化社会と地域活性化」

- · 参加人員 59名
- · 経 費 51万円

114. 中学生コンピュータ・セミナー

- ・ 主 催 朗コンピュータ教育開発センター 脚日本情報処理開発協会
- 開催日時 (別紙)
- · 会場名・住所 (別紙)
- · 行 事 内 容 (別紙)
- 参加人数 3,411名

開催日	会場	テーマ	講師	参加者
10月4日 (水)	中主町立中主中学校 (滋賀県野洲中主町)	私達の生活とコンピュータ	慶応義塾大学理工学部 助教授 中 西 正 和	517
10月11日 (水)	吉岡村立吉岡中学校 (群馬県北群馬郡吉岡村)	"	慶応義塾大学教職センター	597
10月16日	三野町立三野津中学校 (香川県三豊郡三野町)	"	"	455
10月18日 (水)	宮崎市立生目南中学校 (宮崎県宮崎市浮田)		"	808
10月24日 (火)	山中町立山中中学校 (石川県江沼郡山中町)	<i>"</i>	"	492
10月27日 (金)	新庄市立日新中学校 (山形県新庄市)	"	文教大学 講師 星 川 光 男	542
L	I	<u> </u>	1	3,411名

-124-

Ⅷ施設公開

- 1. 郵便局施設公開
 - 主 催 郵政省
 - ・ 開催日時 平成元年10月中に、おおよそ2週間程度
 - · 会場名·住所 (別紙)
 - 行事内容 (1) 郵便番号自動読取区分機及び関連各種機械
 - (2) 電子郵便関連機器
 - (3) 小包・EMS追跡システム関連機器 等
 - 参加人数 40,129人
 - ・ 参加者の反応 ・機械処理能力の高さに感嘆していた
 - ・小包追跡システムに関心があつっていた
 - ・郵便番号の必要性について理解を得た

郵	政 局	公 開 局 名	局 数
東	京	東京中央東京多摩日本橋下谷新宿渋谷豊島	7局
関	東	平塚、越谷、浦、安、水戸中央、字都宮東、前橋中央、高、崎、甲府中央	8局
信	越	長野中央 松本南 新潟中央 新潟中	4 局
東	海	名古屋中央 名古屋郵便集中 静岡南 四日市 浜松西 岐阜中央	6局
北	陸	金沢中央 富山中央 富山南 高 岡	4 局
近	2 2	大阪中央 神戸中央 尼崎 奈良中央 大津中央 和歌山中央 姫路 中京	8局
中	瑶	広島中央 呉 福山東 鳥取中央 米 子 松江中央 岡山中央 倉 敷 山口中央 下 関 徳 山	11局
223	国	松山中央 松山西 髙松南 徳島中央 高知中央	5周
九	州	熊本東 長崎中央 佐世保 福岡中央 博 多 福岡東 小倉西 城南 久留米輸送 大分中央 佐賀中央 宮崎中央 鹿児島中央	13局
東	北	仙台中央 福島中央 郡 山 平 盛岡中央 青森西 八 戸 山形中央 秋田中央	9局
 北 <i>i</i>	海道	札幌中央 旭川 函館 小樽 釧路 帯広 苫小牧	7局
沖	縄	那覇中央	1局
ā	計		8 3 局

-126-

Ⅷ そ の 他

- 1. NTTふれあいトーク大賞
 - 主 催 日本電信電話㈱
 - 開催日時 平成元年6月19日(月)~9月19日(火)(募集)
 11月19日(日)(発表)
 11月24日(金)(表彰式)
 - ・ 会場名・住所 表彰式会場 NTT日比谷ビル 役員応接室 (千代田区内幸町)
 - ・ 行 事 内 容 コミュニケーションに関するエッセイを広く一般から募集し、一般部 門、小・中学生部門について、大賞各1編、優秀賞各9編、および電話特別賞4編を選出した。
 - · 参加人数 応募総数 9,325編
 - ・ 経 費 2,800万円(概算)
 - ・ 参加者の反応 過去最高の応募総数を記録し、入選作品発表後の一般からの問いあわせも多数あった。
- 2. 日本語文書処理技能 (ワープロ技能) 検定試験 1級・2級
 - ・ 主 催 日本商工会議所及び各地商工会議所
 - 後 援 通商産業省
 - 協 賛 做日本事務機械工業会做日本電子工業振興会

(社)日本印刷工業会

- 開催日時 平成元年9月30日(土)~10月1日(日)
- ・ 会場名・住所 全国265都市の商工会議所
- ・ 行 事 内 容 ワープロに係わる技能、国語に関する能力並びに情報処理等の能力を検査、測定、評価する。
- · 受験者数 19,000名(1·2級)

IX 情報化月間推進会議委員名簿

(五十音順 敬称略)

(議 長) 影 Ш 衛 司) 助日本情報処理開発協会 会長 井 (社)日本電子工業振興協会 会長 青 舒 情報処理振興事業協会 理事長 青 木 慎 日本商工会議所 専務理事 井 博 Ш 葉 秀 脚產業研究所 理事長 稲 猪 瀬 博 学術情報センター 所長 内 \mathbb{H} 公 (脚医療情報システム開発センター 理事長 大 島 正 光 E 哲 Ш 郎 (脚関西情報センター 理事長 小林與三次 (社)日本新聞協会 会長 佐々木 日本電子計算機㈱ 取締役社長 敏 已 > 助世界通信開発機構 理事長 Ш 克 村 寿 日本経済新聞社 論説委員 紐情報サービス産業協会 会長 名 木 田 兵二 中川 紐日本民間放送連盟 会長 順 日本放送協会 専務理事・技師長 中 村 好 郎 町 \blacksquare 直 日本貨物鉄道㈱ 代表取締役会長 =(社)情報処理学会 会長 浦 雄 日本電信電話㈱ 代表取締役副社長 上 村 治 \Box Λ 郎 中小企業事業団 理事長 森 東京都立科学技術大学 学長 渡 邊 茂

情報化月間推進会議幹事会委員名簿

(五十音順 敬称略)

(委員長) 照 山 正 夫 (助日本情報処理開発協会 専務理事

内 田 禎 夫 情報処理振興事業協会 専務理事

卯 山 正 幸 EDPユーザー団体連合会 会長

小 川 俊 彦 側日本データ通信協会 専務理事

尾 島 巌 씞日本電子機械工業会 専務理事

金 井 二 郎 助ソフトウェア情報センター 専務理事

川 端 亮 二 働地方自治情報センター 理事

郡 敬太郎 御全日本トラック協会 常務理事

高 力 章 断運輸経済研究センター 理事長

齋 藤 定 信 中小企業事業団 理事

清 水 洋 三 (社)日本パーソナルコンヒュータソフトウェア協会 専務理事

鈴 木 健 \(\text{\U}\)日本電子工業振興協会 専務理事

高 橋 充 夫 助関西情報センター 専務理事

髙 山 精 造 御日本データ・プロセシング協会 副会長

中 庄 二 紐行政情報システム研究所 理事長

永 田 浩 二 (組)日本システムハウス協会 専務理事

根 橋 正 人 (脚ニューメディア開発協会 理事長

平 林 勉 日本電子計算機㈱ 専務取締役

三 上 辰 喜 御日本オフィスオートメーション協会 専務理事

宮 澤 知 治 働ソフトウェア工学研究財団 専務理事

望 月 徹 英 鉄道情報システム(株) 取締役

守 屋 一 彦 日本商工会議所 常務理事

